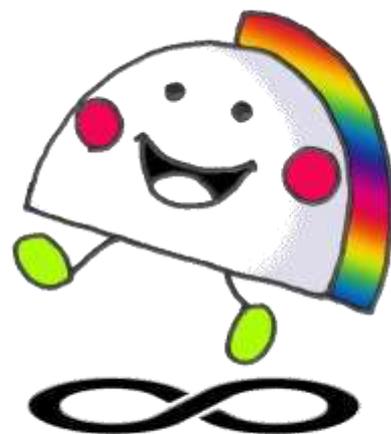


令和7年度

研修講座案内

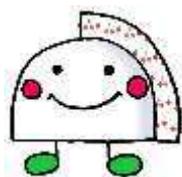
＜デジタル版＞



令和7年度より、冊子として配付はしていません。

本データは、山形県教育センターWeb ページに掲載しています。

「令和7年度研修講座ポスター」も併せてご覧ください。



山形県教育センター

Yamagata Prefectural Education Institute



山形県教員研修体系

領域								山形県教員「指標」におけるキャリアステージ			
生徒指導力	学習指導力	特別支援教育力	ICT活用・情報モラル	総合的な人間力	教育公務員としての自覚	チームマネジメント能力	危機管理対応能力	始発期	成長期	充実期	組織運営期
								初任～3年目	4～10年目	11～20年目	21年目～退職
								教員としての使命感や教育観を育てるとともに、基礎的・基本的な能力及び実践的指導力を身につける。	教員としての専門的な知識・技能の習熟を図り、実践的指導力を高める。	研修課題の整理・解決を図り、積極的な教育実践を通して教員としての専門的な力量を伸ばすとともに若手教員を指導する力を身につける。	広い視野に立ち、学校運営の推進者としての自覚を持つとともに、管理・運営・指導に関する力量を高める。豊かな教職経験を踏まえ、実践的な指導力や課題解決力を一層高め、他の教員の力量形成を支援・指導する。
基本研修								初任者研修・新採教員研修 教職2年次フォローアップ研修 教職3年次フォローアップ研修	教職5年経験者研修	中堅教諭等資質向上研修 ステージアップ研修	教職中長期経験者研修 新採校長研修 新採教頭研修
	▶ 服務規律の理解と総合的な人間力の向上を基盤とした基本研修 特別支援教育研修 ▶ 特支学級新担任 ▶ 通級指導教室新担当 ▶ 特支学校新任教諭										
専門研修								教科・領域に関する研修 ・探究型学習の研究成果を基にした、学習の在り方や授業づくりについて学ぶ研修 ・児童生徒の学力向上を目指して、学習指導要領を踏まえた実践的指導力を高める研修			
								教育課題に関する研修 ・学校教育の基盤となる事項、社会の変化に対応した教育活動の実践について学び、今日的な教育課題の解決を図る研修			
								マネジメントに関する研修 ・学級経営やチームリーダーとしての組織運営または校務運営のために必要なマネジメント能力の向上を図る研修			
校内研修								授業研究、職員研修など			
研長期								▶ 中央研修 ▶ 教職大学院研修 ▶ 長期研修（山形大学、県教育センター、国特総研等における研修）			

注1 ○印は、重点とする領域である。

注2 養護教諭・栄養教諭については、領域内の「生徒指導力」、「学習指導力」を、各職種の専門的な指導力に読み替えるものとする。

注3 職種によっては開講しない講座もある。

注4 校内研修に関し、OJTのサポートのため指導主事の派遣が行われている。

基本研修の申込みから修了までの流れについて

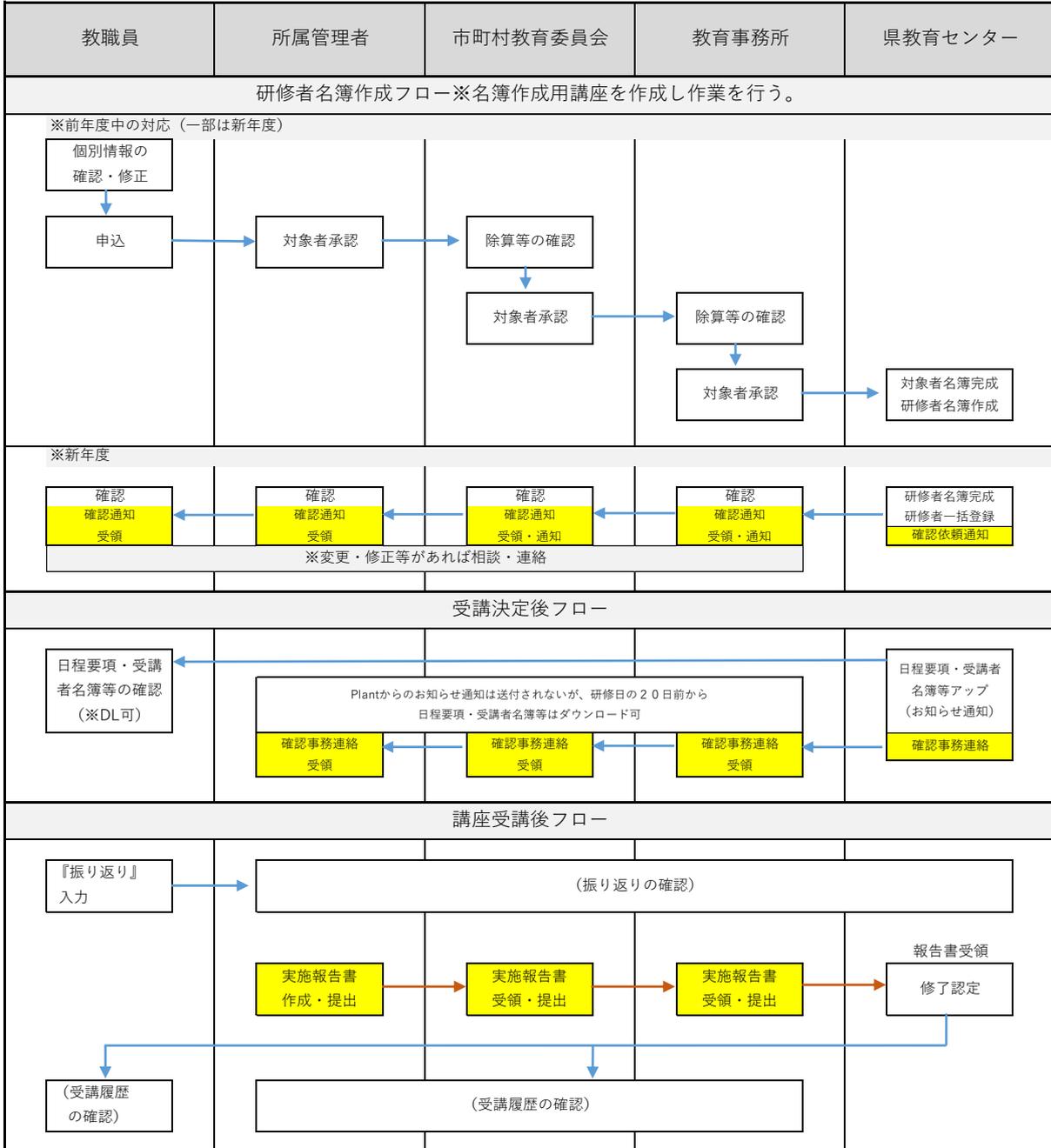
基本的な考え方

○各所属の「承認」について

学校管理職等は研修の奨励を含む適切な指導助言を行うことにより、教員の効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することが必要とされている。また、服務監督権者は教師の資質の向上に向けた支援体制を整えること、任命権者は、効果的・効率的な研修実施体制を整えることが重要とされている。そのため、各所属において「承認」のプロセスを組み込み、所属管理者（学校）・市町村教育委員会・教育事務所のいずれにおいても、教員の参加状況や研修の実施状況などを確認・把握できるようにする。

※5年経験者研修・中堅教員等資質向上研等・ステージアップ研修・中長期研修、
通級指導教室・新担当教員基礎研修、特別支援学級・新担任基礎研修、
特別支援学校・新任教諭基礎研修

例 教育センターにおける基本研修の申込み・実施報告・修了までの流れ



※ 県立学校は、上記、市町村教育委員会及び教育事務所欄を除く。

※ 山形市立学校は、上記、教育事務所を除く。

※ 色付き部分は、Plantによらない部分の動き。

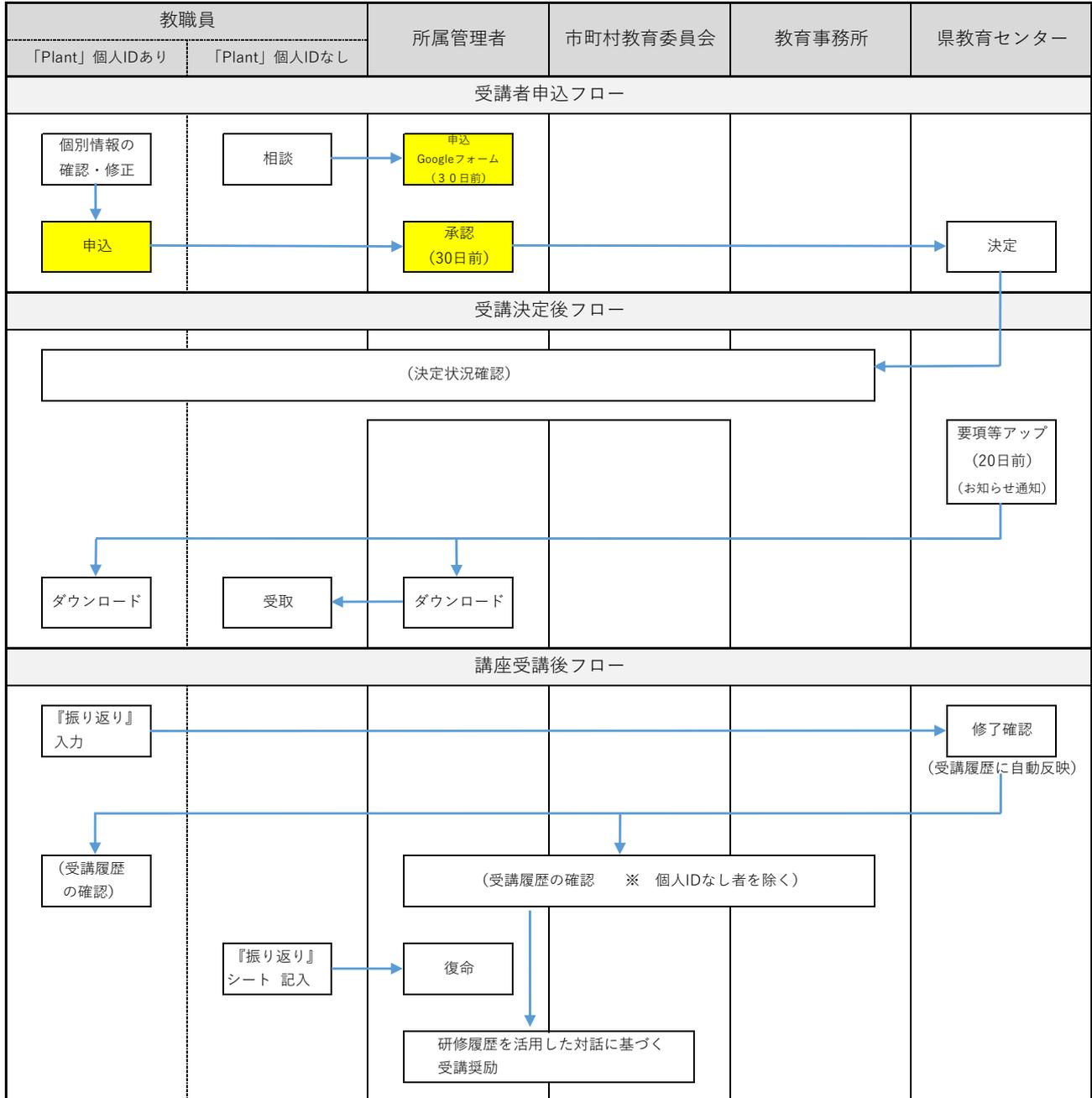
専門研修の申込みから修了までの流れについて

基本的な考え方

○所属管理者（学校）の「承認」について

専門研修は基本研修とは異なり希望研修であるため、市町村教育委員会・教育事務所の承認を省略し、所属管理者（学校）において教員の参加状況などを確認・把握できるようにする。

例 教育センターにおける専門研修の申込み・修了までの流れ



※ 県立学校は、上記、市町村教育委員会及び教育事務所欄を除く。

※ 山形市立学校は、上記、教育事務所を除く。

専門研修の申込方法

<令和7年度より、申込方法が変更になります>

① 「Plant」個人IDがある方

→ Plant から申込（本人）・承認（所属管理者）

※ 申込・承認の方法については、

- ・ 下記のPlant 操作マニュアルをご覧ください。

Plant 操作マニュアル ~研修申込~ (教職員用)

Plant 操作マニュアル ~研修申込承認~ (学校管理職用)



② 「Plant」個人IDがない方

→ 所属管理者に相談の上、

Google フォームから申込（本人）



申込開始日・申込完了日

【専門研修（集合／オンライン）】

申込開始日：4月11日（金）

申込完了日：開催1か月前まで

※ 開催1か月以内に、急遽受講を希望する場合には、お電話にてお問合せください【TEL 023-654-2155】。

ただし、

「高校 教職2年次フォローアップ研修」

「全校種 教職3年次フォローアップ研修」

「全校種 ステージアップ研修」

の一環として

専門研修講座の受講を

希望する場合、各研修の

計画書の提出の関係上、



5月16日（金）まで

申込みを完了してください。

【オンデマンド】

※ 詳細は、Plant より御確認ください。

申込開始日：6月2日（月）または 7月1日（火）



継続型・訪問・来所サポートの申込みはP69～

専門研修講座一覧

講座名をクリックすると研修のページに移動します

教科・領域等に関する研修

学習指導力アップ講座⑤ 国語(小)
学習指導力アップ講座④ 国語(中・高)
学習指導力アップ講座③ 社会(小・中)、地歴・公民(高)
学習指導力アップ講座⑥ 算数(小)・数学(中)
学習指導力アップ講座④ 数学(高)
学習指導力アップ講座② 理科(小)
学習指導力アップ講座② 理科(中・高)
学習指導力アップ講座② 音楽(小)
学習指導力アップ講座⑤ 音楽(中・高)
学習指導力アップ講座③ 図画工作(小)
学習指導力アップ講座③ 美術(中・高)
学習指導力アップ講座⑤ 技術(中)
学習指導力アップ講座⑥ 家庭(小・中)
学習指導力アップ講座⑥ 家庭(高)
学習指導力アップ講座④ 外国語活動・外国語(小)
学習指導力アップ講座① 英語(中・高)
学習指導力アップ講座⑦ 情報(高)
学習指導力アップ講座⑦ 特別の教科道徳
学習指導力アップ講座① 総合的な学習の時間(小・中)・総合的な探究の時間(高)
学習指導力アップ講座⑧ 生活(小)、理科(中)、音楽(小)、美術(中)、技術(中)、家庭(中)
協働的な学びの授業づくり講座
理科実験基礎講座

教育課題に関する研修

小学校学級担任講座【カリキュラム・デザイン編】
小学校学級担任講座【学級経営編】
小学校学級担任講座【学習評価編】
複式学級指導基礎講座
特別活動を要としたキャリア教育実践講座
生徒指導力アップ講座【集団指導力編】
生徒指導力アップ講座【児童生徒理解力編】
「ことばの教室」講座【基礎・基本編】
「ことばの教室」講座【指導・理論編】
「ことばの教室」講座【早期支援・連携編】
特別支援学級講座【基礎・基本編】
特別支援学級講座 自立活動 【知的障がい編】
特別支援学級講座 自立活動 【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴編】
特別支援学級講座 自立活動 【自閉症・情緒障がい編】
配慮を要する児童生徒への支援講座 【基礎・基本編】
配慮を要する児童生徒への支援講座 【ICT活用編】
授業におけるICT活用講座① GoogleWorkspace編
授業におけるICT活用講座① SKYMENUCloud編
授業におけるICT活用講座① ロイロノート・スクール編
授業におけるICT活用講座② FigJam・生成AI編
管理職のためのICT活用講座
校務DX講座
情報活用能力を育む授業づくり講座

マネジメント研修

学校マネジメント講座(通期)
学校マネジメント講座②-A【地域共創デザイン】
学校マネジメント講座②-B【研修デザイン】
学校マネジメント講座②-C【学校DXデザイン】
学校マネジメント講座②-D【インクルーシブデザイン】

オンデマンド研修

学校運営基礎講座(高)
特別支援教育講座
生成AI活用講座
小学校プログラミング研修動画
特別支援学級の学級経営 等

目次

<令和7年度 山形県教員研修体系 全体図>

<基本研修・専門研修の申込から修了までの流れについて>

<はじめにお読みください>

<専門研修講座一覧> (当該ページにリンクします)

I 令和7年度 研修講座の概要

- 1 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 研修講座の構成・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 3 専門研修への受講をお待ちしています！・・・・・・・・ P 2

II 令和7年度 研修講座一覧

- 1 基本研修、継続型・訪問サポート・・・・・・・・ P 3
- 2 専門研修・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

III 令和7年度 県教育センター年間運営計画・・・・・・・・ P 5～10

IV 研修講座内容

<受講対象者・表の見方（専門研修）・オンライン型研修の留意点> ・・・・・・・・ P 11

- 1 基本研修・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12～14
- 2 専門研修～センター講座 ・・・・・・・・ P 15～61
- 3 オンデマンド型研修 ・・・・・・・・ P 62～64

V 受講にかかわる手続き

- 1 受講申込み・・・・・・・・・・・・・・・・ P 65
- 2 受講に関わる旅費等・・・・・・・・ P 66
- 3 昼食・宿泊の申込方法等・・・・・・・・ P 66
- 4 欠席、遅刻・早退、受講者変更の流れ・・・・・・・・ P 67

VI 各種様式

- 1 欠席届（全校種）・・・・・・・・ P 68
- 2 遅刻・早退届（全校種）・・・・・・・・ P 68

VII 継続型・訪問・来所サポート

- 1 内容・・・・・・・・ P 69
- 2 申込方法・・・・・・・・ P 70

I 令和7年度 研修講座の概要

I 基本方針

- (1) 山形県教員研修計画に基づき、教員の資質・能力の向上に資するために、キャリアステージや職務に応じた研修講座の開催を推進します。
- (2) 学習指導要領、時代のニーズに対応する研修の充実を図ります。
- (3) 山形県教育振興計画の趣旨を踏まえ、子供と向き合う時間の確保と研修との両立を図る研修にします。
- (4) 県教育センターの研究に基づく研修を教育事務所や所属校等で行い、教職員の研修の機会を増やすことで、指導力の向上を図ります。また、校内研修等の支援を行い、OJTの充実を図ります。

2 研修講座の構成

県教育センターの研修講座は、基本研修、専門研修、継続型・訪問サポートに分けられています。

基本研修

教員としての基本的な資質・能力を育成し、その後の教職経験や役職に応じた実践的指導力や教育への使命感と教育理念を深め、総合的な人間力を高めるために、次の研修を悉皆として行います。

- 初任者研修、フォローアップ研修、経験者研修
- 管理職研修 ■ 特別支援教育基礎研修

専門研修

教職員としての資質と指導力の向上を図り、学校や地域における教育活動の推進と充実に寄与できるよう、教科・領域等、教育課題、マネジメントに関する研修を行います。

※ 高2年次・全校種3年次フォローアップ研修、全校種ステージアップ研修の一環として受講できる講座もあります。

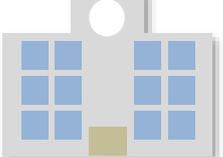
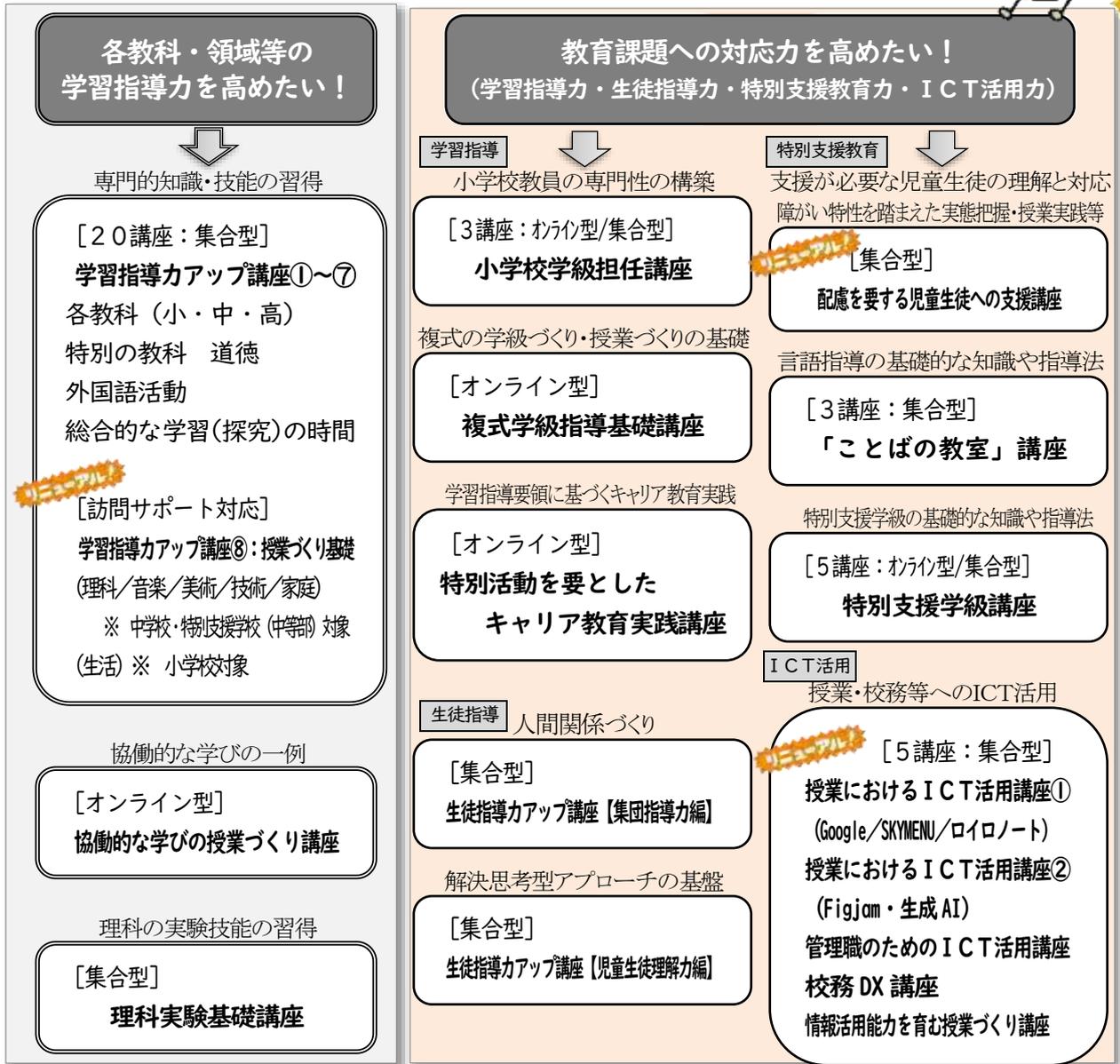
- 教科・領域等に関する研修講座 ■ 教育課題に関する研修講座
- マネジメントに関する研修講座

継続型・訪問サポート

より多くの教職員に研修の機会を提供して指導力の向上を図るため、各学校等を会場とした研修等を支援します。

- 学校や教職員の探究への伴走 ■ 教科・領域等に関する研修講座
- 教育課題に関する研修講座 ■ 研究研修に関する指導・助言

3 専門研修への受講をお待ちしています！



オンデマンド型研修
 Plantより御確認ください。
 コンテンツは、随時追加予定です。

チームマネジメント能力を高めたい！

自走する学校の実現

【オンデマンド型】
学校運営基礎講座（高）

学校マネジメントに必要な資質・能力の向上

学校マネジメント講座 [全4回]
 【①：発意→②：構想と構築（②-A～Dより1講座）
 →③：遂行と省察→④：報告と交流】

学校マネジメント講座②-A～D [4講座]
 ②-A【地域共創デザイン】 ②-B【研修デザイン】
 ②-C【学校DXデザイン】 ②-D【インクルーシブデザイン】

☞ 「学校マネジメント講座」では、県教育センターと山形大学が、受講者と学校に“伴走”します！☞

Ⅱ 令和7年度 研修講座一覧

1 基本研修

研修名	研修名	対象	センター主催日数
初任者研修	幼稚園・認定こども園新規採用教員研修	幼稚園等の教諭等	5
	小学校・中学校・義務教育学校初任者研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	4
	特別支援学校初任者研修	特別支援学校教諭（助教諭を含む）	9
	高等学校初任者研修	高等学校教諭（助教諭を含む）	16
2年次 フォローアップ研修	小学校・中学校・義務教育学校 教職2年次フォローアップ研修 ・教職2年次服務研修（1回） ・教育相談の基礎（1回） ・発達障がいに関わる理解と支援（1回）	小学校・中学校・義務教育学校教諭 ※A・Bグループに分けて、オンラインで実施（午後開催）	3
	特別支援学校教職2年次フォローアップ研修 ・教職2年次服務研修（1回） ・教育相談の基礎（1回） ・発達障がいに関わる理解と支援（1回）	特別支援学校教諭（助教諭を含む） ※A・Bグループに分けて、オンラインで実施（午後開催）	3
	高等学校教職2年次フォローアップ研修 ・教職2年次服務研修（1回） ・選択研修（1回）	高等学校教諭（助教諭を含む） ※服務研修：A・Bグループに分けて、オンラインで実施（午後開催） 選択研修：県教育センター指定の研修より1つ受講	2
	小学校・中学校・義務教育学校 教職3年次フォローアップ研修 ・教職3年次服務研修（1回） ・選択研修（1回）	小学校・中学校・義務教育学校教諭 ※服務研修：A・Bグループに分けて、オンラインで実施（午後開催） 選択研修：県教育センター指定の研修より1つ受講	2
3年次 フォローアップ研修	特別支援学校教職3年次フォローアップ研修 ・教職3年次服務研修（1回） ・授業研究（1回） ・選択研修（1回）	特別支援学校教諭（助教諭を含む） ※服務研修：A・Bグループに分けて、オンラインで実施（午後開催） 授業研究：A・Bグループに分けて、県教育センターで実施 選択研修：県教育センター指定の研修より1つ受講	3
	高等学校教職3年次フォローアップ研修 ・選択研修（2回）	高等学校教諭（助教諭を含む） ※選択研修：県教育センター指定の研修より2つ受講	2
経験者研修	小学校・中学校・義務教育学校教職5年経験者研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	1
	特別支援学校教職5年経験者研修	特別支援学校教諭（助教諭を含む）	2
	高等学校教職5年経験者研修	高等学校教諭（助教諭を含む）	2
	幼稚園・認定こども園中堅教諭等資質向上研修	幼稚園等の教諭等	2
	小学校・中学校・義務教育学校 中堅教諭等資質向上研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	3
	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修	特別支援学校教諭（助教諭を含む）	5
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	高等学校教諭（助教諭を含む）	5
	小学校・中学校・義務教育学校 ステージアップ研修	小学校・中学校・義務教育学校教諭	2
	特別支援学校ステージアップ研修	特別支援学校教諭（助教諭を含む）	
	高等学校ステージアップ研修	高等学校教諭（助教諭を含む）	
教職中長期経験者研修	小学校・中学校・義務教育学校 ・特別支援学校・高等学校の校長、教員等	—	
管理職 研修	新規採用校長研修・学校経営研修	小学校・中学校・義務教育学校 ・特別支援学校・高等学校の校長	2
	新規採用教頭研修・教員倫理研修	小学校・中学校・義務教育学校 ・特別支援学校・高等学校の教頭	2
特別支援 教育基礎 研修	通級指導教室新担当教員基礎研修 【言語通級】	言語通級指導教室の新担当教員 （講師・助教諭を含む）	3
	通級指導教室新担当教員基礎研修 【LD等通級】	LD等通級指導教室の新担当教員 （講師・助教諭を含む）	2
	特別支援学級新担任基礎研修 【知的障がい】	知的障がいの特別支援学級新担任教員 （講師・助教諭を含む）	2
	特別支援学級新担任基礎研修 【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴】	肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴の 特別支援学級新担任教員（講師・助教諭を含む）	2
	特別支援学級新担任基礎研修 【自閉症・情緒障がい】	自閉症・情緒障がいの特別支援学級新担任教員 （講師・助教諭を含む）	2
特別支援学校新任教諭基礎研修	特別支援学校の新任教諭	1	

☆ 継続型サポート・訪問サポート（指導主事等派遣）

内容		時間	参加人数
学校課題・個人課題【探究】			応相談
校内研究・研修支援【教科・領域等】			応相談
校内研究・研究支援【教育課題】	① ICT活用・情報教育		応相談
	② いじめ防止対策	60分～	応相談
	③ 特別支援教育		応相談
	④ 教育相談	60分～	応相談

2 専門研修【センター講座】

分類	講座名 ※ 特に[]書きのない講座は、「集合型研修(1日)」です。	教師に共通的に求められる資質能力					高校3年2年次研プロ全校種 研修対象	全 校種 研修 対象 アップ	
		教職に必要な 素養	学習指導	生徒指導	特別な 配慮や 支援	I C T			
教科・領域等に関する研修	① 総合的な学習の時間(小・中)・総合的な探究の時間(高) 英語(中・高) 理科(小) ② 理科(中・高) 音楽(小) ③ 社会(小・中)、地歴・公民(高) 図画工作(小) 美術(中・高) 外国語活動・外国語(小) ④ 国語(中・高) 数学(高) 国語(小) ⑤ 音楽(中・高) 技術(中) ⑥ 家庭(小・中) 家庭(高) 算数(小)・数学(中) ⑦ 情報(高) 特別の教科 道徳 ⑧ 授業づくり基礎:理科(中) 授業づくり基礎:音楽(中) 授業づくり基礎:美術(中) 授業づくり基礎:技術(中) 授業づくり基礎:家庭(中) 授業づくり基礎:生活(小)	総合的な学習の時間(小・中)・総合的な探究の時間(高)	○	◎				*	*
		英語(中・高)	○	◎				*	*
		理科(小)	○	◎				*	*
		理科(中・高)	○	◎				*	*
		音楽(小)	○	◎				*	*
		社会(小・中)、地歴・公民(高)	○	◎				*	*
		図画工作(小)	○	◎				*	*
		美術(中・高)	○	◎				*	*
		外国語活動・外国語(小)	○	◎				*	*
		国語(中・高)	○	◎				*	*
		数学(高)	○	◎				*	*
		国語(小)	○	◎				*	*
		音楽(中・高)	○	◎				*	*
		技術(中)	○	◎			○	*	*
	家庭(小・中)	○	◎				*	*	
	家庭(高)	○	◎				*	*	
	算数(小)・数学(中)	○	◎				*	*	
	情報(高)	○	◎			◎	*	*	
	特別の教科 道徳	○	◎				*	*	
	授業づくり基礎:理科(中)	○	◎				*	*	
	授業づくり基礎:音楽(中)	○	◎				*	*	
	授業づくり基礎:美術(中)	○	◎				*	*	
	授業づくり基礎:技術(中)	○	◎				*	*	
授業づくり基礎:家庭(中)	○	◎				*	*		
授業づくり基礎:生活(小)	○	◎				*	*		
協働的な学びの授業づくり講座 [午後ワイド開催]		○	◎			○	*	*	
理科実験基礎講座	中学校・高等学校・特別支援学校(高等部)の理科を担当する教員及び実習教諭等	○	◎				*		
教育課題に関する研修	小学校学級担任講座 (1回のみ受講も可)	カリキュラム・デザイン 編 [午後ワイド開催]	○	◎			*	*	
		学級経営 編	○	◎	◎		*	*	
		学習評価 編 [午後ワイド開催]	○	◎			*	*	
	複式学級指導基礎講座 [午後ワイド開催]		○	◎	○			*	
	特別活動を要としたキャリア教育実践講座 [午後ワイド開催]		○	◎	◎			*	
	生徒指導力アップ講座 (1回のみ受講も可)	集団指導力 編	○	○	◎			*	
		児童生徒理解力 編	○	○	◎			*	
	「ことばの教室」講座 (1回のみ受講も可) ※「【言語】通級指導教室新担当教員基礎研修」と同時開催	基礎・基本 編	○	○		◎		*	
		指導・理論 編	○	○		◎		*	
		早期支援・連携 編	○	○		◎		*	
	特別支援学級講座 (1回のみ受講も可)	基礎・基本 編 [午後ワイド開催]	○	○		◎		*	
		知的障がい 編	○	○		◎		*	
		肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴 編	○	○		◎		*	
		自閉症・情緒障がい 編	○	○		◎		*	
	配慮を要する児童生徒への支援講座	基礎・基本 編	○	○		◎		*	
		I C T活用 編	○	○		◎		*	
授業におけるI C T活用講座① (1回のみ受講も可)	Google Workspace 編	○	○			◎	*		
	SKYMENU Cloud 編	○	○			◎	*		
	ロイロノート・スクール 編	○	○			◎	*		
授業におけるI C T活用講座② (1回のみ受講も可)	Figjam・生成AI編	○	○			◎	*		
管理職のためのICT活用講座		○	○			◎	*		
校務DX講座		○	○			◎	*		
情報活用能力を育む授業づくり講座		○	○			◎	*		
マネジメント	学校マネジメント講座(年4回・原則4回受講) 【①:発意→②:構想と構築(②-A~Dより1講座)→③:遂行と省察→④:報告と交流】		◎					*	
	②-A【地域共創デザイン】地域とともにある学校づくり		◎					*	
	②-B【研修デザイン】学び合う文化の醸成	1回のみ受講も	◎					*	
	②-C【学校DXデザイン】DXで学校のチーム力を高める		○				◎	*	
	②-D【インクルーシブデザイン】多様性への対応と学習権の保障		○				◎	*	
オンデマンド ※ 随時追加予定。 (詳細は県教育センターWebページ参照)	学校運営基礎講座(高)		◎					/	
	特別支援教育講座		○	○	○	◎		/	
	生成AI活用講座		○	○			◎	/	
	山形県におけるICTの調査研究		○	○			◎	/	
	I C Tを活用した授業デザイン演習講座		○	○			◎	/	
	小学校プログラミング研修動画【C-1 背景、学習指導要領等との関連】		○	○			◎	/	
	小学校プログラミング研修動画【C-2 ねらいと評価、具体的な授業】		○	○			◎	/	
	小学校プログラミング研修動画【C-3 授業実践事例紹介、プログラミング実践体験】		○	○			◎	/	
	micro:bit講座		○	○			◎	/	
	特別支援学級の学級経営【知的障がい】		○	○			◎	/	
特別支援学級の学級経営【肢体不自由、病弱、弱視、難聴、自閉症・情緒障がい】		○	○			◎	/		

Ⅲ 令和7年度 県教育センター 年間運営計画

4月			5月			
日	曜	研修講座等	日	曜	研修講座等	施設利用等
1	火	所内業務・発令伝達 長期研修入所式	1	木		
2	水	所内業務	2	金		
3	木		3	土	憲法記念日	
4	金	研修推進委員会①(午前) 調査研究委員会①(午後)	4	日	みどりの日	
5	土		5	月	こどもの日	
6	日		6	火	振替休日	
7	月	所内業務 調査研究オリエンテーション(午後)	7	水	調査研究委員会②(午後)	
8	火		8	木	中・義初任者研修① 特(中・高)初任者研修①	新採養教研①
9	水	基本研修学習指導担当者会 新任研修担当者会	9	金	新採教頭研修① ☆授業づくり基礎講座(小中)~	学力向上担当者会議①
10	木		10	土		24時間子供SOSダイヤル 相談員連絡協議会①
11	金		11	日		
12	土		12	月	所内業務	
13	日		13	火	小・義初任者研修①A 特(小)初任者研修①A	
14	月	所内業務	14	水	小・義初任者研修①B 特(小)初任者研修①B	
15	火	特初任研校長等連絡協議会 特中堅研校長連絡協議会	15	木	新採校長研修-1	
16	水	高校初任研校長等連絡協議会 高校中堅研校長連絡協議会	16	金	新採校長研修-2 ☆複式学級指導基礎講座	
17	木		17	土		
18	金	高校中堅研全体研修① 特学校新任教諭基礎研修	18	日		
19	土		19	月	所内業務	
20	日		20	火	高校初任者研修地区別研修-1 研修推進委員会③(午前)	第1回県幼児教育推進協議会
21	月	所内業務	21	水	高校初任者研修地区別研修-2	にここ相談連絡協議会 研修担当指導主事会議② 高等学校教務主任連絡協議会
22	火	高校初任者研修①-1	22	木	2年次フォローアップ(教育相談A)	学校体育経営研修会 (小中高)
23	水	高校初任者研修①-2	23	金	通級新担当教員研修(言語)① ☆「ことばの教室」講座【基礎・基本編】	
24	木	高校初任者研修①-3	24	土		
25	金	研修推進委員会②(午後)	25	日		
26	土		26	月	所内業務	
27	日		27	火	2年次フォローアップ(教育相談B)	市町村立学校事務職員研修(新採前期)
28	月	所内業務	28	水	☆小学校学級担任講座【カリキュラム・ デザイン編】	
29	火	昭和の日	29	木	☆学校マネジメント講座①	
30	水		30	金	幼・こ新採研修①	
			31	土		

6月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	日		
2	月	所内業務	
3	火	☆学校マネジメント②-D【インクルーシブデザイン】	
4	水	特別支援学級新任基礎研修(肢等、自・情)① JET事業担当者会議	
5	木	小中義・特中堅研全体研修 I	(村山地区)チーム学校協議会①
6	金	調査研究委員会③(午後)	主任指導主事会議②
7	土		
8	日		
9	月	所内業務	教育相談関係研修会
10	火	高校初任者研修②-1	
11	水	高校初任者研修②-2 特学校初任者研修②-1	
12	木	特学校初任者研修②-2 ☆学校マネジメント②-B【研修デザイン】	
13	金	CCM① 研修推進委員会④(午後)	県栄教・学校栄養士等研修
14	土		
15	日		
16	月	所内業務	
17	火	☆学校マネジメント②-A【地域共創デザイン】	
18	水	特別支援学級新任基礎研修(知)① ☆特別支援学級講座【基礎・基本】	
19	木	☆学校マネジメント②-C【学校DXデザイン】	県理科教育センター協議会事務局員研修会
20	金	☆理科実験基礎講座 研修担当者会①	高等学校特別支援教育Co研修会①
21	土		
22	日		
23	月	所内業務	特別支援巡回相談員養成研修会
24	火	小・義5年経験者研修A	
25	水	小・義5年経験者研修B 特(幼・小)5年研全体研修 I	
26	木	中・義5年経験者研修 特(中・高)5年研全体研修 I	
27	金	高校5年研全体研修	
28	土		
29	日		
30	月	所内業務	

7月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	火	☆授業におけるICT活用講座① 【Google】【Sky】【ロイロ】 JET勤務終了式	
2	水	☆学習指導力アップ講座① 【小中高総・中高英】	
3	木	☆生徒指導力アップ講座【集団指導力編】	
4	金	調査研究委員会④(午後)	高等学校生徒指導連絡会議
5	土		
6	日		
7	月	所内業務	
8	火	幼・こ新採研修②-1	新採養教研②養教5年研①養教中堅研①(1)
9	水	幼・こ新採研修②-2	新採養教研②養教5年研①養教中堅研①(2)
10	木	☆小学校学級担任講座【学級経営編】	
11	金		県教育課程推進協議会A
12	土		
13	日		
14	月	所内業務	
15	火	CCM②通級新担当教員研修(LD等)① 高校初任者研修③-1 高校中堅研全体研修②-1	
16	水	高校初任者研修③-2 高校中堅研全体研修②-2	
17	木		高等学校就職指導連絡会議
18	金		県教員研修体系検討委員会幹事会
19	土		
20	日		
21	月	海の日	
22	火	所内業務 ☆キャリア教育実践講座	
23	水	研修推進委員会⑤(午後)	
24	木	☆配慮を要する児童生徒への支援講座【基礎・基本編】	
25	金		
26	土		
27	日		
28	月	所内業務	
29	火		
30	水	中・義初任者研修② 特(中・高)初任者研修③	新採養教研④
31	木	小・義初任者研修②AB 特(小)初任者研修③AB	

8月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	金	☆特別講座	県教育課程推進協議会B
2	土		
3	日		
4	月	所内業務	
5	火	調査研究委員会⑤(午後)	
6	水	幼・こ中堅研全体研修Ⅱ-1 特学校中堅研授業研修 特3年次フォローアップ(授業研修A)	
7	木	幼・こ中堅研全体研修Ⅱ-2 特学校中堅研授業研修 特3年次フォローアップ(授業研修B)	
8	金	☆管理職のためのICT活用講座 【Google】	
9	土		
10	日		
11	月	山の日	
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月	所内業務	
19	火	CCM③ 研修推進委員会⑥(午前)	県教員研修体系検討 委員会
20	水	☆学習指導力アップ講座② 【小理・中高理・小音】	
21	木	新規来日JETオリエンテーション-1	
22	金	新規来日JETオリエンテーション-2 ☆学習指導力アップ講座③ 【小中社&高地歴公・小図・中高美】	小中学校体育経営研修会 (中期)
23	土		
24	日		
25	月	所内業務	
26	火	調査研究委員会⑥(午後)	
27	水	☆学習指導力アップ講座④ 【小外・中高国・高数】	
28	木	特別支援学級新任基礎研修(肢等)② ☆特別支援学級講座【自立(肢等)】	教科担任マイスターベ ンシック研修会②
29	金	☆情報活用能力を育む授業づくり 講座	
30	土		
31	日		

9月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	月	所内業務	
2	火	所内業務	
3	水	所内業務	
4	木	所内業務	
5	金	所内業務	県基本研修実施協議会 経営評価委員会
6	土		
7	日		
8	月	所内業務 研修推進委員会⑦(午後)	全県指導主事等研究協議 会
9	火	新採教頭研修②	高等学校体育経営・保健 安全推進協議会②
10	水	小中義・特中堅研全体研修Ⅱ	生徒指導担当者会議②
11	木	☆学習指導力アップ講座⑤ 【小図・中高音・中技】	
12	金	通級新担当教員基礎研修(言語)② ☆「ことばの教室」講座【指導理論編】 ☆協働的な学びの授業づくり講座	主任指導主事会議③
13	土		
14	日		
15	月	敬老の日	
16	火	所内業務	
17	水		県不登校未然防止連絡協議会
18	木	長期研修(前期)研究発表会	新採養教研⑤
19	金	CCM④	特別支援学校校務支援シ ステム導入説明会
20	土		
21	日		
22	月	所内業務	
23	火	秋分の日	
24	水	☆授業におけるICT活用講座②【FigJam・ 生成AI】 長期研修(前期)終了式	
25	木	☆学習指導力アップ講座⑥ 【小中家・高家・小算中数】	
26	金	特別支援学級新任基礎研修(知)② ☆特別支援学級講座【自立(知)】 高校初任研校長等連絡協議会②	
27	土		
28	日		
29	月	所内業務	
30	火		県高等学校教育課程研究 協議会

10月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	水	長期研修(後期)入所式 特学校初任者研修④-1	
2	木	特学校初任者研修④-2	
3	金	高校5年研教科別研修	学力向上担当者会議② (村山地区)チーム学校協議会②
4	土		24時間子供SOSダイヤル 相談員連絡協議会②
5	日		
6	月	所内業務	
7	火	研修推進委員会⑧(午前) 調査研究委員会⑦(午後)	養教・栄教中堅研④ (村山地区)公立高入試説明会
8	水	高校初任者研修④-1	市町村立学校事務職員研修 (新採後期、中堅、役付)(1)
9	木	高校初任者研修④-2	市町村立学校事務職員研修 (新採後期、中堅、役付)(2)
10	金	☆配慮を要する児童生徒への支援講座 講座【ICT活用編】 CCM⑤	
11	土		
12	日		
13	月	スポーツの日	
14	火	所内業務	
15	水	幼・こ新採研修③-1 特別支援学級新任基礎研修(自情)② ☆特別支援学級講座【自立(自情)】	
16	木	☆校務DX講座【Google】	
17	金	☆学習指導力アップ講座⑦【道・高情】 ☆生徒指導力アップ講座【児童生徒理解 力編】	
18	土		
19	日		
20	月	所内業務	
21	火		高等学校特別支援教育 Co研修会②
22	水		高校体育・保健委員会③(1) 新採養教研⑥(1)
23	木		高校体育・保健委員会③(2) 新採養教研⑥(2) (村山地区)2年次フォロー研
24	金	特学校5年研全体研修Ⅱ	
25	土		
26	日		
27	月	所内業務	
28	火	幼・こ新採研修③-2	
29	水		特別支援学校教育課程研 究協議会
30	木	科学の甲子園(準備)	
31	金	科学の甲子園	

11月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	土		
2	日		
3	月	文化の日	
4	火	CCM⑥ 所内業務	生徒指導担当者会議③
5	水	中義初任者研修③特学校初任者研修⑤-1 高校中堅研授業研修③-1 高校初任者研修⑤-1教科別研修	
6	木	小義初任者研修③A特学校初任者研修⑤-2 高校中堅研授業研修③-2 高校初任者研修⑤-2教科別研修	
7	金	小・義初任者研修③B	
8	土	やまがた教育の日	
9	日		
10	月	所内業務	
11	火	小・義中堅研全体研修Ⅲ 特(幼・小)中堅研全体研修Ⅲ	
12	水	中・義中堅研全体研修Ⅲ 特(中・高)中堅研全体研修Ⅲ	
13	木	JET指導力等向上研修(小中義)	
14	金	JET指導力等向上研修(高)	
15	土		
16	日		
17	月	所内業務	
18	火	研修推進委員会⑨(午前) 調査研究委員会⑧(午後)	
19	水		LD等連絡協議会②
20	木	2年次フォローアップ(発達A)	新採養教研⑦養教栄教5年研 ②養教栄教中堅研⑤
21	金	☆学校マネジメント講座③	
22	土		
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日	
25	火	所内業務	
26	水	通級新担当教員研修(LD等)②	
27	木	2年次フォローアップ(発達B)	
28	金	☆小学校学級担任講座【学習評価 編】	学校体育研究発表大会
29	土		
30	日		

12月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	月	所内業務	
2	火		研修担当指導主事会議③
3	水	3年次フォローアップ(服務A)	
4	木	研修推進委員会⑩(午前)	
5	金	通級新担当教員研修(言語)③ ☆「ことばの教室」講座【早期支援・連携編】 研修担当者会②	
6	土		
7	日		
8	月	所内業務	
9	火	3年次フォローアップ(服務B)	高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会④
10	水	調査研究委員会⑨(午後)	探究型学習推進研究会
11	木		学校教育指導の重点作成会議(1)
12	金	CCM⑦	学校教育指導の重点作成会議(2)
13	土		
14	日		
15	月	所内業務	
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	所内業務	
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	年末休業	
30	火		
31	水		

1月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	木	元日	
2	金	年始休業	
3	土		
4	日		
5	月	所内業務	
6	火		
7	水		
8	木		
9	金	研修推進委員会⑪(午前) 調査研究委員会⑩(午後)	
10	土		
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	高校初任者研修⑥-1	
14	水	高校初任者研修⑥-2	
15	木	高校初任者研修⑥-3	
16	金	2年次フォローアップ(服務A)	特別支援学校校務支援システム研修会
17	土		
18	日		
19	月	所内業務	第2回県幼児教育推進協議会
20	火	2年次フォローアップ(服務B)	
21	水		
22	木	JET地区別研修会(庄内・置賜)	高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会⑤(1)
23	金		高等学校体育経営・保健安全推進研究委員会⑤(2)
24	土		
25	日		
26	月	所内業務	
27	火	☆学校マネジメント講座④	
28	水		小中学校体育経営研修会(後期)
29	木		
30	金	JET地区別研修会(村山・最北)	
31	土		

2月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	日		
2	月	所内業務	
3	火		
4	水	調査研究委員会⑪(午後)	
5	木		指導課長等会議④ 主任指導主事会議④
6	金		研修担当指導主事会議④
7	土		
8	日		
9	月	所内業務	
10	火		
11	水	建国記念の日	
12	木		
13	金	研修推進委員会⑫(午後) CCM⑧	学力向上担当者会議③
14	土		
15	日		
16	月	所内業務	
17	火	研修担当者会③	
18	水		生徒指導担当者会議④
19	木		高等学校体育経営・保健 安全推進研究委員会⑥
20	金		
21	土		
22	日		
23	月	天皇誕生日	
24	火	所内業務	
25	水		
26	木		
27	金	長期研修(後期)研究発表会	
28	土		

3月			
日	曜	研修講座等	施設利用等
1	日		
2	月	所内業務	
3	火	調査研究委員会⑫(午後)	
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月	所内業務	
10	火	研修推進委員会⑬(午後)	
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月	所内業務	
17	火	所内業務	
18	水	所内業務	
19	木	所内業務	
20	金	春分の日	
21	土		
22	日		
23	月	所内業務	
24	火	長期研修修了式	
25	水		
26	木		
27	金	研修推進委員会⑭(午後)	
28	土		
29	日		
30	月	所内業務	
31	火		

Ⅳ 研修講座内容

＜受講対象者について＞

校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、保育教諭、助教諭
 実習教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師、実習講師
 小学校・中学校・義務教育学校の学校事務職員

⇒ ただし、旅費は学校で御対応ください。

※【注目！】 講座名に、例「国語（小）」の記載があっても、
 中学校や特別支援学校、高等学校の教職員も受講可能です。

＜表の見方（専門研修）＞

～受講対象者が無記載の場合には、上記全てが受講可能～

＜研修形態＞ 集合型：センターでの受講
 オンライン型：所属校等での受講
 ＜開催時間＞ 一日／午後／時間

◎：特に受けていただきたい
 ○：受けていただきたい
 空欄：キャリアステージとしては時期が早い

基本研修の一環として受講可能（中長期研修は全て受講可能）

本講座のねらい

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	○
	選択研修として、 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			
学習指導力アップ講座①【総合的な学習の時間（小・中）、総合的な探究の時間（高）】					
総合的な学習の時間、総合的な探究の時間における探究の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）をイメージした学習の 進め方や学習指導要領について理解を深めるための研修を実施し、単元づくりの演習を通して、実践的指導力の向上を図る。					
令和7年 7月2日（水）10:00～（9:30受付開始）					
＜主な講師＞ ○ 山形大学 教授 野口 徹 氏					
＜講座内容（方法）＞ ① 探究の過程を大切に単元づくり・授業づくり（講義） ② 探究的に学ぶ授業の実際（講義・演習） ③ 探究の過程を大切に単元づくりワークショップ（演習）					

オンライン型研修の留意点

- (1) 研修場所は所属校を基本とし、所属長の承認を得た端末を御使用ください。
- (2) 研修は、Zoom を用いて実施します。ブラウザからも参加できますが、インストールしたアプリからの参加を推奨しています（表示速度・動作が早いため）。
- (3) 当日の配付資料は、実施要項等でお知らせする URL や二次元コードよりダウンロードし、紙面や端末等で閲覧できるようにしてください。その際、Microsoft Edge や Chrome（推奨）でダウンロードしてください。
- (4) オンライン配信の録画、録音、撮影等は固く禁止とします。また、複数名が同室で受講する場合には、マイク付きイヤホンを使用してください。

Ⅰ 基本研修

※ 各研修の詳細については、該当校に配付する実施要項・概要を御確認ください。

幼稚園・認定こども園新規採用教員研修

幼稚園等の新規採用教員に対して、その職務に必要な事項に関する研修を実施し、実践的な指導力と使命感を養うとともに総合的な人間力を高める。

小学校・中学校・義務教育学校初任者研修

特別支援学校初任者研修

高等学校初任者研修

新規採用教員に対して、教育公務員特例法第23条等の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに総合的な人間力を高める。

小学校・中学校・義務教育学校教職2年次フォローアップ研修

特別支援学校教職2年次フォローアップ研修

高等学校教職2年次フォローアップ研修

山形県教員「指標」の始発期における教職2年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。

小学校・中学校・義務教育学校教職3年次フォローアップ研修

特別支援学校教職3年次フォローアップ研修

高等学校教職3年次フォローアップ研修

山形県教員「指標」の始発期における教職3年次の公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。

小学校・中学校・義務教育学校教職5年経験者研修

特別支援学校教職5年経験者研修

高等学校教職5年経験者研修

教職経験5年を経過した公立学校教員を対象として、教員として必要な使命感と教育観の深化を図るとともに、専門的な知識と技能を高め、教員としての資質と実践的指導力の向上を図る。

幼稚園・認定こども園中堅教諭等資質向上研修

現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた1年間の研修を実施し、指導援助の在り方や幼児理解等に関する実践的指導力の充実を図るとともに総合的な人間力を高める。

小学校・中学校・義務教育学校中堅教諭等資質向上研修
特別支援学校中堅教諭等資質向上研修
高等学校中堅教諭等資質向上研修
教諭等の在職期間が10年を経過した者に対して、現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた研修を実施し、中堅教諭等としての資質向上を図る。

小学校・中学校・義務教育学校ステージアップ研修
特別支援学校ステージアップ研修
高等学校ステージアップ研修
中堅教諭等資質向上研修を修了したものに対して、現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた研修を実施し、中堅教諭等としての資質向上を図る。

教職中長期経験者研修
在職期間が20年目となる教員等に対して、教員倫理の徹底、学習指導力の充実、教育実践上の課題解決力の向上及び専門性の研鑽を図る。

新規採用校長研修・学校経営研修
新規採用校長として広い視野に立ち、学校運営の推進者としての自覚を持つとともに管理・運営・指導に関する力量を高めるため、多様な教育課題に対応できる経営・組織マネジメント力や危機管理などの学校経営について研修を深める。
1日目【オンライン型】：5月15日（木）9:30-15:00（9:00 受付開始）
2日目【集合型】：5月16日（金）10:00-16:00（9:30 受付開始）

新規採用教頭研修・教員倫理研修
国および本県の教育施策や学校経営について理解を深めるとともに、解決が急務となっている教育課題並びに倫理観を高める教職員管理の在り方について研修を行い、教頭としての自覚と資質の向上を図る。
1回目【オンライン型】：5月9日（金）10:00-16:00（9:30 受付開始）
2回目【集合型】：9月9日（火）13:00-16:00（12:30 受付開始）

<小中義特高の基本研修対象者の目安（除算等を考慮しない場合）>

教職 1年目	初任者研修
教職 2年目	2年次フォローアップ研修
教職 3年目	3年次フォローアップ研修
教職 6年目	教職5年経験者研修
教職 11年目	中堅教諭等資質向上研修

教職 14～16年目 （うち1年間）	ステージアップ研修
教職 20年目	教職中長期経験者研修
教頭 1年目	新採教頭研修
校長 1年目	新採校長研修

<特別支援教育基礎研修>

通級指導教室新担当教員基礎研修【言語】

言語通級指導教室の新担当教員を対象にして、特別支援教育に関する基礎的な知識や通級指導及び教室経営等について研修を実施し、担当としての意欲と指導力の向上を図る。

通級指導教室新担当教員基礎研修【LD等】

LD等通級指導教室の新担当教員を対象にして、特別支援教育に関する基礎的な知識や通級指導及び教室経営等について研修を実施し、担当としての意欲と指導力の向上を図る。

特別支援学級新担任基礎研修【知的障がい】

【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴】【自閉症・情緒障がい】

特別支援学級【知的障がい】【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴】【自閉症・情緒障がい】の新担任を対象に、特別支援教育に関する基礎的な知識、学習指導、学級経営等について研修を実施し、特別支援学級担任の意欲と指導力の向上を図る。

特別支援学校新任教諭基礎研修

県立特別支援学校の新任教諭を対象とし、特別支援学校における教育に係る基礎的事項の研修を通して、一人一人のニーズに応じた支援の在り方及び保護者や関係機関との連携の在り方について理解を図る。

<特別支援教育の基本研修一覧>

研 修 名	対 象
通級指導教室新担当教員基礎研修 【言語通級】	【言語通級指導教室】 新担当教員
通級指導教室新担当教員基礎研修 【LD等通級】	【LD等通級指導教室】 新担当教員
特別支援学級新担任基礎研修 【知的障がい】	【知的障がい】 特別支援学級新担任教員
特別支援学級新担任基礎研修 【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴】	【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴】 特別支援学級新担任教員
特別支援学級新担任基礎研修 【自閉症・情緒障がい】	【自閉症・情緒障がい】 特別支援学級新担任教員
特別支援学校新任教諭基礎研修	【特別支援学校】 新任教諭

2 専門研修～センター講座

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修	全校種 ステージアップ研修		

学習指導力アップ講座①【総合的な学習の時間（小・中）、総合的な探究の時間（高）】

総合的な学習の時間、総合的な探究の時間における探究の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）をイメージした学習の進め方や学習指導要領について理解を深めるための研修を実施し、単元づくりの演習を通して、実践的指導力の向上を図る。

令和7年 7月2日（水）10:00～（9:30受付開始）

<主な講師>

○ 山形大学 教授 野口 徹 氏

<講座内容（方法）>

- ① 探究の過程を大切にしたい単元づくり・授業づくり（講義）
- ② 探究的に学ぶ授業の実際（講義・演習）
- ③ 探究の過程を大切にしたい単元づくりワークショップ（演習）

<講師紹介>

東京都公立小学校勤務を経て、2011年に山形大学に着任。
生活科・総合的な学習の時間を中心に研究を進めている。
日本生活科・総合的学習教育学会常任理事。

文部科学省 高等学校学習指導要領（2018年告示）解説 総合的な探究の時間編 専門的作業等協力者
文部科学省 小学校学習指導要領（2008年告示）解説 総合的な学習の時間編 作成協力者
文部科学省 総合的な探究の時間指導資料「今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開」高等学校編 作成協力者
国立教育政策研究所 学習指導要領実施状況調査結果 分析委員会委員
国立教育政策研究所 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校「総合的な探究の時間」 調査研究協力者



【受講者の声】

子どもたち自身が問いを解決しようとするのが総合であるということ、教師の心構えは、対象に関わる学習で子どもたちにしっかりと概念としてわかってほしい価値の水準を持っておくこと、教師の声かけは「考えてみようよ」ではなく、「○と☆の特徴を考えて比べてみよう」など、子供が考えやすいか、活動にすぐ取りかかれるかというところを意識していくことがわかりました。



一年間の単元づくりを実践したことが最も印象的でした。非常にわかりやすく、かつ、重要なポイントを確認できたので、本校にも当てはめて応用したいと思いました。今現在、課題研究に取り組んでいる生徒がいるので、その生徒たちにさっそくアドバイスし、還元できると感じました。

「自分の学校でどうやって総合を進めていったらよいのか」、「次の一手をどうしたらよいのか」など、和やかな雰囲気の中、みんなで話しながら一緒に考えていきましょう。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

学習指導力アップ講座①【英語（中・高）】

学習指導要領の趣旨を踏まえた言語活動と評価について理解を深める。また生徒が外国語で他者とコミュニケーションを行うための実践的指導力の向上を図る。

令和7年 7月 2日（水）10：00～（9：30受付開始）

<主な講師>

○ 国立教育政策研究所 学力調査官 佐藤 大樹 氏

<講座内容（方法）>

- ① 学習指導要領に基づく指導法（講義・演習）
- ② 探究型学習の視点に基づく英語の授業での指導法（講義・演習）

<講師紹介>

- ① 氏名 佐藤 大樹（さとう たいき）
- ② 所属 国立教育政策研究所
教育課程研究センター研究開発部
学力調査官（併任）教育課程調査官
- ③ 職歴 長野県内公立中学校教諭、信州大学教育学部附属長野中学校教諭、長野県教育委員会事務局南信教育事務所学校教育課指導主事を経て現職。
- ④ 論文 中学校英語科における技能統合型の言語活動の指導—読んだことに基づいて話すこと[やり取り]酒井 英樹，佐藤 大樹，木下 愛里，菊原 健吾 全国英語教育学会紀要 30 巻（2019）



<講座紹介>

- ・ 学習指導要領のポイントを確認しながら、英語教育の最新情報を得ることもできます。
- ・ 校種を超えたワークショップを通して、校種連携の視点を磨くことができます。
- ・ 講師の方との距離も近いので、ぜひさまざまな意見交換をしていただければと思います。

<令和6年度 受講者の声より>

- ・ 言語活動について、Q & Aで終わらずに対話を横に広げることで生徒のやり取りの力を向上させることができることを学びました。
- ・ 生徒一人一人が力の付く授業を実践していく上での、裏付けとなるエビデンスの一つが学習指導要領であるので、もう一度学習計画を設定していく中で、学習指導要領を生かしていきたいと感じました。
- ・ 中高の学びの連動の大切さを改めて痛感致しました。生徒は小学校でも中学校でも高等学校でも英語を学び続けます。教員は渡された教科指導のバトンを大切に次につないでいくべきだと感じました。
- ・ A L Tにおすすめの場所を紹介する動画や中学校の先生に向けて発表する映像を見て、相手意識を育てるためには目的・場面・状況を明確にする重要性を再確認しました。後半の演習では、中高連携して指導案を作成し、実現可能な指導を共に考え、共有することが何よりも良かったと思います。今まで中高連携は何をしたら良いのか具体的に分からなかったのですが、今日考えてみると案外興味深かったです。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

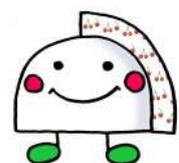
学習指導力アップ講座②【理科(小)】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童が主体的・協働的に取り組む理科の授業づくりについて、講義・演習を通して実践的に学び、指導力の向上を図る。

令和7年 8月20日(水) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>
 ○ 山形大学 准教授 鈴木 宏昭 氏

- <講座内容>**
- ① 理科教育の課題と授業改善のポイント(講義)
 学習指導要領を基に、実践的な視点で単元や授業をとらえ、授業改善のポイントを捉えることができます。
 - ② 児童が主体的・協働的に取り組むための授業づくり(講義・演習)
 受講している先生どうして、対話を通しながら実際の単元計画を練り上げることができます。そのため、研修で得られたものを即実践に移すことが可能です。講師の鈴木先生からも具体的なアドバイスをいただくことができます。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座②【理科（中・高）】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒が主体的・対話的に課題解決していく理科の授業づくりについて研修を実施し、実践的指導力の向上を図る。

令和7年8月20日（水）10：00～（9：30受付開始）

<主な講師>
 ○ 文部科学省 初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 氏
 ○ 県教育センター 指導主事

<講座内容（方法）>

① 学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり（講義・演習）

- ・ 学習指導要領改訂に当たっての基本的な考え方や、理科で育成を目指す資質・能力、理科における「見方・考え方」について、ポイントを整理しながら講義をしていただきました。
- ・ 理科において、科学的に探究する学習にするために、授業をどうデザインしていくか、講義をしていただき、また、他校種の先生方と交流のしながら学びを深めていきました。

② 学習評価の進め方について（講義・演習）

- ・ 観点別授業評価について、評価規準や評価の方針について大切にしたいことを講義していただき、自らの学習指導案を見つめ直しながら、また、他者が作成した学習指導案をグループで意見交換をしながら、理解を深めていきました。

<受講者の声>

- 現行の指導要領を改定するにあたって、その背景や子どもたちが何を学ぶのかという基本的なところを再確認できた。
- 学習指導案を見合ったり、交流したりして、これから参考にさせていただきたいことがたくさん見つかりました。
- 生徒が自ら学ぶ学習スタイルに段階的に変えていけるよう、身につけさせたい資質・能力を明確にした単元デザインを作成すること、効果的にICTを活用することが重要であると理解を深めることができました。
- 学習指導要領全体や理科の改訂のポイントを今まで何となく理解していたものを、改めてポイントを絞って分かりやすく解説していただき、理解することができました。
- どのような視点で授業をデザインしていくかを指導案の添削を通して学ぶことができ、指導を作成するだけでは見えて来なかった視点や気付きを得ることができました。
- これからもっと頑張ろうと思えた研修でした。

<受講者の明日からの挑戦>

- 指導案の作成にあたり、授業の本質は何か、身に付けさせたい資質能力は何かについて、じっくりと考えながら単元構成と本時を計画していきたい。
- 知識よりの授業が多いと感じていたので、生徒が学ぶことができる授業をデザインしていきたいと思います。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

学習指導力アップ講座②【音楽（小）】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善のポイントについて学び、講義と演習を通して実践的な指導力の向上を図る。

令和7年 8月20日（水）10：00～（9：30受付開始）

<主な講師>

○ 筑波大学附属小学校 副校長 高倉 弘光 氏

<講座内容（方法）>

- ① 学習指導要領の趣旨を踏まえた音楽科の授業づくりのポイント（講義）
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した音楽科の授業づくり（講義・演習）
 ～ 受講者の課題意識に応じて、高倉先生の豊富な授業実践を体験しながら、授業づくりについて学びます～

<講師紹介>

筑波大学附属小学校副校長、筑波大学、群馬大学非常勤講師学習指導要領解説執筆協力者、教育出版教科書著者、NHKEテレ「おんがくブラボー」「名曲アルバム+」「フライデーモーニング・スクール」「ウワサの保護者会」などで番組制作委員および出演、日本ダルクローズ音楽教育学会常任理事、日本授業UD学会理事、音楽授業ラボラトリー研究会代表、主な著書に「こども・からだ・おんがく 高倉先生の授業研究ノート」（音楽之友社）ほか多数。



<令和6年度の講座の様子>

受講者の先生方の課題意識をもとに講義・演習をしていただきました。高倉先生の実際の授業の様子を映像で見せていただいたり、授業実践を紹介していただいたりすることを通して、受講者の皆様も体を動かしながら楽しい音楽の授業を体験し、授業づくりについての学びを深めていました。

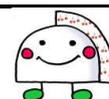


音楽が得意でさらに授業力を高めたい先生にも、音楽がちょっと苦手な先生にもおすすめの講座です。

【受講者の声】

「こちらが教えるのではなく、自然と表現したくなるような工夫についてたくさん教えていただきました。遊びの中に学びがある、ということは、子供たちにとっても教師にとっても、笑顔があふれる授業になりそうです。」

「鑑賞教材では、高倉先生が指示したリズム、声、太鼓の音色などに絞って聴くことで、はっきりと聴き分けることができました。ねらいたい内容を焦点化することで、知識の習得に大きな差が出てくるのだと思いました。」



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

学習指導力アップ講座③【社会（小・中）、地歴・公民（高）】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した社会科、地歴・公民科の授業づくりについて学び、講義と演習を通して、実践的な指導力の向上を図る。

令和7年 8月22日（金）10：00～（9：30受付開始）

<主な講師>

- 文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 小倉 勝登 氏

<講師紹介>

- 平成4年から東京都公立小学校教諭。
- 平成11年から東京学芸大学附属小金井小学校教諭、平成29年に東京学芸大学非常勤講師兼務を経て、平成30年から現職。
- 中央教育審議会社会・地理歴史・公民ワーキンググループ委員
- 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編作成協力者

<講座内容（方法）>

- ① 学習指導要領の趣旨を踏まえた社会科、地歴・公民科における授業づくりのポイント（講義）
 - ② 個別最適な学びと協働的な学びの両立に向けた単元計画・評価計画の実際（演習）
- * R7の「指導の重点」の重点事項に沿った講座内容になります。

◇R6講座アンケートより

今まで自分には、問題解決的な学習の観
点が足りなかったと実感しました。
(成長期・小学校教諭)

小倉先生への質問を通して、授業での「問
い」について学びを深めることができた。
(充実期・中学校教諭)

これまでの指導の在り方を見つめ直すこ
とができた。
(始発期・小学校教諭)

演習では、ペアになった先生と活動を行い、
単元の作り方や問いの作り方を演習の中で
学ぶことができた。
(始発期・中学校教諭)



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座③【図画工作(小)】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、[共通事項]を適切に位置付けた指導計画の工夫や、児童が主体的・対話的に取り組む創造活動を通し、実践的指導力の向上を図る。

令和7年 8月 22日(金) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>

○ 東北芸術工科大学 教授 吉田 卓哉 氏

<講座内容(方法)>

- ① これから求められる図画工作科の授業づくり(講義・演習)
- ② 児童が主体的・対話的に課題を解決していく授業づくり(講義・演習)



この講座は、「学習指導力アップ講座③【美術(中・高)】」と合同開催です。
 普段、なかなか会う機会のない小学校、中学校、高校の先生方と、図工・美術の話をしながら、授業づくりについて楽しく考えていきましょう!



【これまでの受講者の声(小学校)】

- 充実した一日で、とても満足しています。
- 周りの人とお話ししながら表現活動や鑑賞活動に取り組むことで、自分にはなかった考えや感じ方を得ることができ、思考が広がっていくことを体感した。
- 他の学校の先生方とお話をさせていただく中で、アドバイスもいただきました。
- 今後の自分の成長に繋がる言葉もたくさんいただいた。
- 楽しんで学ぶ教科にしていこうと思いました。
- 子どものやりたい、描きたい、楽しいを尊重できる図画工作の時間を作ればいいな。
- 鑑賞の時間で想像を膨らませたり、作品を味わってもらうことで、自分の表現に生かせるような授業作りを目指していきたいです。
- 様々な活動を通して、子どもたちはこんなにも自然にコミュニケーションをとっていたんだなと実感しました。
- 子供の思いを大切にしていこうと思います。
- 楽しい時間にするのを念頭に置いて図工の授業を考えていきたいと思っています。

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選 択 研 修 と し て 受 講 可 能 な 基 本 研 修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座③【美術（中・高）】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、〔共通事項〕を適切に位置付けた指導計画の工夫や、生徒が主体的・対話的に取り組む創造活動を通し、実践的指導力の向上を図る。

令和7年 8月 22日（金）10:00～（9:30受付開始）

<主な講師>
○ 東北芸術工科大学 教授 吉田 卓哉 氏

- <講座内容（方法）>
- ① これから求められる美術科の授業づくり（講義・演習）
 - ② 生徒が主体的・対話的に課題を解決していく授業づくり（講義・演習）



この講座は、「学習指導力アップ講座③【図画工作(小)】」と合同開催です。
普段、なかなか会う機会のない小学校、中学校、高校の先生方と、図工・美術の話をしながら、授業づくりについて楽しく考えていきましょう！



- 【これまでの受講者の声（中学校・高校）】
- 自分の住んでいるところにも美術とつながるものがあるのではないかと考えた。
 - 言葉がけや雰囲気作り方を実感を持って体験できた。
 - 普段、美術は学校に一人なので、このような研修はありがたいです。
 - 授業者が地域、社会、世界に目を向けて美術を見つめていく大切さを再確認した。
 - 一つの題材の中に表現と鑑賞の両方の要素を取り入れることで、より自分ごととして考えながら手を動かすことができるような気がしました。
 - 今回様々な教材と触れることができたので、どうしたら子どもたちが主体的に学びに向かえるのか考えながら、授業作りに励んでいきたいと思えます。
 - 高校や他の中学校の先生方とお話する機会もとても新鮮で楽しかったです。
 - 自身の授業に共通事項がどのように現れているか分析し、生徒に伝える方法についての研究に取り組みたいと思えます。
 - 勤務校に合わせた実施の方法についても考える必要があると感じました。
 - 世の中は形や色、光であふれている。自分自身の視野を広げていこうと思う。

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期			組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座④【外国語活動・外国語（小）】

学習指導要領の着実な実施に向けて、小学校外国語教育やその指導の在り方について理解を深めるとともに、事例に基づく授業づくりの留意点を確認することを通して、実践的指導力の向上を図る。

令和7年8月27日（水）10:00～（9:30受付開始）

<主な講師>

○ **文部科学省 初等中等教育局 教科調査官 早川 優子 氏**

- 山梨県小学校教諭として、教科指導・学級指導に力を入れて取り組む。この間、文部科学省英語教育強化地域拠点事業、英語教育推進リーダー中央研修などに参加し、英語力向上・授業力向上に力を注ぐ。
- 令和元年度より、義務教育課指導主事として外国語教育を推進。
- 令和5年度、甲府市内小学校教頭として勤務。
- 令和6年度4月より、現職。

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 外国語教育推進室 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

【参考資料】

[小学校英語情報誌 “Junior Sunshine Letter Vol.7”（開隆堂）](#)

「教科調査官 早川優子先生に聞きました

5年目を迎えた小学校外国語科の成果と課題

現行の学習指導要領の全面実施から5年目。次期改訂に向けた議論が始まりつつある今、今年度から教科調査官に就任された、早川優子先生に小学校外国語教育の「これまで」と「これから」についてお話を伺いました。



<講座内容（方法）>

- ① 小中連携を踏まえた小学校外国語教育及びその指導の在り方について（講義・演習）
- ② 外国語活動・外国語科（小）での授業づくりについて（講義・演習）

【上記の参考資料より（引用）】

早川先生にとって英語教育とは？

一 外国語教育で大切なことは

繰り返しになりますが、本物のやり取りをすることです。相手意識や目的意識を明確にした言語活動を地道に積み重ねることで児童は力をつけていくと思います。そのためには児童が伝えたい仕掛けと題材設定の工夫が不可欠です。

一 外国語教育ならではの魅力とは

第二言語を話すという高いハードルに臆せず挑戦し続けることで、自分の気持ちを自分の言葉で伝える力が身につくことです。その力はすべての生活場面において生かされ、子どもたちが自分の道を切り拓くきっかけにつながると思います。

「本物のやり取りをすること」「うそは言わないこと」
 「素直な気持ちを伝えること」「活動には必ず必然性をもたせること」が大切。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	○
選択研修として 受講可能な基本研修		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			
学習指導力アップ講座④【国語（中・高）】					
学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科の授業づくりについて学び、講義と演習を通して、実践的な指導力の向上を図る。					
令和7年 8月27日(水) 10:00～(9:30受付開始)					
<主な講師>					
○ 宮城教育大学 教授 児玉 忠 氏					
<講座内容(方法)>					
① 学習指導要領の趣旨を踏まえた国語科の授業づくりのポイント(講義)					
② 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科の授業づくり(演習)					
<講師紹介>					
<ul style="list-style-type: none"> 専門分野 国語教育 国語科学習指導の歴史的・論理的研究および臨床的・実践的研究。 (なかでも、小学校の詩教育、中学校・高等学校の作文指導など) 略歴 北海道教育大学(旭川校)卒業。大阪教育大学大学院修士課程を修了後、大阪府の私立高校勤務を経て、平成12年10月より弘前大学教育学部助教授。平成27年4月より宮城教育大学教授に就任。全国大学国語教育学会常任理事、日本国語教育学会地区理事をはじめ、日本文学協会、日本児童文学学会などの学会に所属し活動。 その他、中央教育審議会専門委員(平成27年～平成29年)、学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業など協力者(平成29年度告示中学校学習指導要領国語)などを務める。 『詩の教材 一創作のレトリックを生かすー』(教育出版2017年)、『中学校・高等学校「書くこと」の学習指導』(共著 溪水社2016年)など著書多数。 					
<令和6年度 受講者の声>					
<ul style="list-style-type: none"> 教科特性を言語化していただいたことで、<u>普段もやもやしていたことが明確になった。</u> <u>「主体的に学習に取り組む態度」とその評価について、分かりやすく学ぶことができました。</u> <u>すぐに授業で生かせる内容をご教授頂きました。</u> <u>指導と評価の焦点化について、より明確に整理し、学ぶことができました。</u> <u>生徒のやる気を引き出しつつ、評価につなげる単元計画、授業展開のヒントをいくつも示していただきました。</u> 児玉先生の話し方や進め方など、<u>みんなが幸せになる講座展開も印象的でした。</u> 					
					
<p>← 令和6年度の様子はコチラからチェック!!</p> <p>山形県教育センターX公式アカウント</p> <p>https://x.com/yamagata_kc/status/1826897179912667640?s=46&t=pprOfqSFuw9vK8IFdhIAyq</p>					



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	組織運営期◎	◎	◎	◎	○
選択研修として◎高2年次・全3年次フォローアップ研修 受講可能な基本研修 全校種 ステージアップ研修					

学習指導力アップ講座④【数学（高）】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒が主体的・協働的に取り組む数学科の授業づくりについて、講義と実践的な演習を通して、指導力の向上を図る。

令和7年 8月27日（水）10：00～（9：30受付開始）

<主な講師>
 ○ [宮城教育大学 准教授 花園 隼人 氏](#)
 ・ 学位：博士（教育学）
 ・ 専門分野：数学教育学
 ・ 経歴：東京都内の国立大学附属高校で7年間勤務。その後、大学の非常勤や研究員を経て現職（令和2年度～）。令和5年度より学習指導力アップ講座【数学（高）】の講師を務める。

<講座内容（方法）>
 ① [学習指導要領を踏まえた授業方法や授業実践の紹介（講義）](#)
 ・ 昨年度は、授業動画の視聴を通して、目指すべき方向性の確認と学習指導要領における教科目標についての講義をしていただきました。
 ② [生徒が主体的・協働的に取り組む数学科の授業づくり（講義・演習）](#)
 ・ 昨年度は、目指す授業の全体像と詳細な検討の方法を確認し、具体的な教材についての反応予想や授業観察の演習を行いました。

<講座を受講した先生方の感想（一部）>
 ○ 講師の先生が用意してくださった授業の題材がとても面白いもので、考えを深めやすい内容でした。生徒の声を活かした授業作りを前々から行いたいと思っていたため、最初は難しいと思いますが、まずそういった授業作りを挑戦してみようと思える講座でした。
 ○ 受験が目前にある中学生とは違い、（就職を考えている）高校生に、数学に興味を持ってもらうことがとても難しいように感じていました。しかし、花園先生のお話をお聞きしたり、研究授業の映像を見たりして、「数学的な見方や考え方」を育む、生徒と共に作っていく授業が今からでも可能なのだということがわかりました。
 ○ 「指導する生徒が実生活に必要性を感じるものを題材にすること」が大切であり、必要性を感じるものは生徒によって全く異なるものであることを感じました。教師側が教科的に面白いと思っても、目の前の生徒は面白いと感じているとは限らない。拝見した研究授業では、教員が持ち上がりで指導をしている学級での2年目での授業でしたが、「1年目の学級ではうまくいかなかった」という言葉が印象的でした。教材理解に加え、生徒理解が必要と改めて感じました。
 最後に花園先生から頂いた「新しいことを覚えることの楽しさや新しいものを意味づける緩い考えが大切」の言葉に元気と勇気を頂けたところでした。
 ○ すべての時間とはいきませんが、各単元の導入などの場面でより生徒が主体的に取り組めるような授業作りをしていきたいです。そのためにも毎回の授業で生徒の反応を予想し、この場合はこう指導しようなど考えながら授業をしていきたいと思っています。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

学習指導力アップ講座⑤【国語(小)】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、これまでの国語科の授業づくりや学習評価の在り方を見直し、具体的な改善の着眼点を見いだすとともに、確かな学力の育成に向けた授業づくり等について、実践的な指導力の向上を図る。

令和7年 9月11日(木) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>

- 国立教育政策研究所 教育課程調査官 大塚 健太郎 氏
- 山形県教育センター 指導主事

<講座内容(方法)>

- ① 主体的・対話的で深い学びの過程が実現できる授業づくりや、指導と評価の一体化に向けた学習評価の在り方(講義)
- ② 指導と評価の一体化を意識した学習評価の実際(演習)

<講師紹介>

国立教育政策研究所 教育課程調査官 大塚 健太郎 氏

- ・ 専門分野：国語科教育
- ・ 主な実績等：
 - 「学習指導要領(平成29年告示)」及び「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の作成
 - 「小学校/令和6年度全国学力・学習状況調査問題における課題等と指導改善のポイントについて」(『国語教育2024年10月号』明治図書)等の執筆

<講座紹介 ～令和6年度実績より～>

演習例1

**学習状況を捉えて
指導改善につなげる**

演習① 子どもの学習状況を的確に捉える
～第3学年「読むこと」～

演習② 子どものつまずきを捉え、手立てを考える
～第1学年「書くこと」～



受講者の声

授業の中での「教師の出」について、考えさせられました。子どもの困り感に気づき、その子が学びを進めるにはどのような手立てが必要なのかを考えて、適切な声かけをしていくことが必要だと感じました。



演習例2

**確かな学力の育成
に向けた授業づくり**

～「資質・能力の明確化」から「言語活動の設定」まで～

教科書改訂で、新しく掲載された物語文や説明文を分析し、資質・能力の育成につながる言語活動を考えてみよう。



受講者の声

同じ学年の先生方と教材研究をすることで、教材の新たな見方を知ることができました。物語文の進め方など意見交換ができて、明日からの授業にも生かせそうです。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座⑤【音楽(中・高)】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善のポイントについて学び、講義と演習を通して実践的な指導力の向上を図る。

令和7年 9月11日(木) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>

○ 玉川大学 教授 清水 宏美 氏

<講座内容(方法)>

- ① 学習指導要領の趣旨を踏まえた音楽科の授業づくりのポイント
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した音楽科の授業づくり(模擬授業と演習)
(山形県の民謡を教材とした歌唱の指導及びギターを用いた器楽・鑑賞の指導を中心に)

<講師紹介>



現在、玉川大学芸術学部音楽学科教授として音楽教育に関わる講義を担当する傍ら、各都道府県の教員研修センターにおける研修講師等、音楽科授業の模範授業・講演や和楽器指導などを行っている。また、東京を中心に「郷土の音楽をほりおこす」「教材化する」個人研究に力を注いでいる。東京都の公立中学校教諭時代には、文部科学省学習指導要領の改善等に関する調査研究・作成協力者(『中学校学習指導要領解説音楽編(平成20年9月)』)、東京都中学校音楽研究会副会長・同統括研究部長、全日本音楽教育研究会事務局次長などを歴任し、音楽科教師として、生徒のための音楽教育研究に情熱を注いできた。

主な著書:『これでできる!音楽科の授業創り すぐに使える指導案・ワークシート事例集』(音楽之友社 2022年)『和楽器・日本の音楽の授業—雅楽編—』(全音楽譜出版社 2009年)『楽しもう!ポディリズムで音楽を表現しよう』(全音 2024)『はじめよう!音を楽しむ音楽づくり・創作の事例集』(全音 2019)他多数。

<R6年度の講座の様子>

前半は、清水宏美先生作詞・作曲の混声合唱曲『ここからはじまる』を教材に、生徒が声部の役割を生かし、思いや意図をもって合唱表現の工夫に取り組む授業について学びました。後半は、雅楽の鑑賞、箏の演奏(器楽)、律音階による旋律づくり(創作)の3分野を関わらせた題材構想について、模擬授業を体験しながら学びました。清水先生の音楽愛・教育愛・生徒愛を感じながら、楽しく学びを深めました。



【受講者の声】

「どのように教えるか」ではなく、「どのように引き出すか」を深く考えるよい機会になりました。

清水先生のパワーに乗せられて、歌いたくなる、答えたくなる、心が動かされる研修でした。そしてそれは、深い教材研究のもとに成り立っているのだということもわかりました。

「授業づくりが好き」「音楽は幸せになるため・音楽で幸せにする」という清水先生の言葉に感銘を受けました。様々な教師の仕掛けがあつてこそ、生徒がワクワクする学び、深い学びにつながることを感じました。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座⑤【技術(中)】

学習指導要領を踏まえ、技術分野における確かな学力の育成に向けた授業づくり等について、実践的な指導力の向上を図る。

令和7年 9月11日(木) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>
 ○ 宮城教育大学 准教授 板垣 翔大 氏

<講座内容(方法)>
 ① これから求められる技術科の授業づくり(講義・演習)
 ② 生徒が主体的・対話的に解決していく授業づくり(講義・演習)

<講師紹介> **宮城教育大学 准教授 板垣 翔大 氏**

- ・ 専門分野：技術科教育，情報教育，教育学
- ・ キーワード：情報の技術，プログラミング，AI，ICT活用
- ・ 主な講師実績等：
 - 仙台市教育センター 中学校技術科研修「技術教育における1人1台端末の活用について-1人1台端末を用いて，主体的・対話的で深い学びを実現する授業の体験-」2023年12月
 - 教職員支援機構 産業・情報技術等指導者養成事業 技術・家庭(技術)「双方向性のあるコンテンツのプログラミング」2023年7月 ほか
 - 文部科学省学校DX戦略アドバイザー 2023年4月～ ほか



<講座紹介>

- ・ 主に、「D情報の技術」について、**演習中心の実践的な研修**です。
- ・ 板垣先生は、開隆堂教科書に、「D情報の技術」の事例を提供されています。教科書のソフトウェア等を使いながら、実践上のポイントを学びます。
- ・ 最新の技術科教育の動向、クラウド、IoT、AI、技術の見方・考え方、発達段階に即した問題発見・解決プロセス、統合的な問題の解決、プログラミング、アクティビティ図、チャット、ルート検索アプリ等のおすすめのソフトウェアについても学べます。
 (R6は、[スモウルビー](#)(プログラミング)・[ChatGPT](#)・[App Inventor](#)(スマホアプリ)・[Teachable Machine](#)(画像認識AI)等を学びました)

<こんな人をお待ちしています！>

- ・ 若手、ベテランを問わない技術科教員はもちろん、免許外で技術を担当されている先生まで、お気軽にお申し込みください！一緒に楽しみながら課題解決していきましょう！

<こんな力がつきます！～令和6年度 受講者の声より～>

- ・ 紹介していただいたアプリの使用法を理解し、またそれらを利用した問題を見出して課題を解決している生徒の様子を見ることができた。「なるほど、そういう活動が、生徒の問題提起と課題解決につながるのか」と、やっと自分の中に落とすことができた。
- ・ 今回とても勉強になったのは、Chat GPTだった。世の中で話題になっているものの、教育現場で使用することは、適切なのかという疑問があった。文部科学省の使用に関するルールを、再確認したので、教材研究に活用していきたい。
- ・ これからAIとどのように付き合っていくか、活用していくかを学ぶことができた。
- ・ スモウルビーを授業で用いて、双方向性のあるプログラミングの授業を実践したい。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

学習指導力アップ講座⑥【家庭（小・中）】

学習指導要領を踏まえ、家庭科及び技術・家庭科（家庭分野）における資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりについて研修し、指導力の向上を図る。

令和7年 9月25日（木）10:00～（9:30受付開始）

<講師>

○ 茨城大学教育学部 教授 野中 美津枝 氏

<講座内容（方法）>

- ① 生活課題解決能力を育成する授業づくり（講義・演習）
- ② 知識構成型ジグソー法を用いた教材開発（講義・協議・演習）



<講師紹介>

茨城大学教育学部教授。博士（教育学）。管理栄養士、消費生活アドバイザー。
公立高等学校教諭、私立高等学校教諭として約18年間高校で家庭科を教える。

2008年4月より大学教員になり、九州女子大学、愛媛大学、茨城大学において家庭科教育法等を担当し、教員養成に務める。専門は、授業研究、消費者教育、食育。

主な著書：

「家庭科への参加型アクション志向学習の導入-22の実践を通して-」（共著、大修館書店）、

「新しい消費者教育-これからの消費生活を考える-」（共著、慶應義塾大学出版会）、

「生活課題解決能力を育成する授業デザインの実証的研究-授業評価・改善に関するモデル」（単著、福村出版）、

「ロールプレイングを導入した新しい家庭科授業-知識構成型ジグソー法の教材開発」（共著、教育図書）など。

<講座紹介>

令和7年度山形県各教科等指導の重点（家庭・技術・家庭）より一部抜粋

1 よりよい生活や社会を創造する資質・能力の育成

(1) 問題解決的な学習の充実

(2) 深い学びにつながる手立ての工夫

2 生活の営みに係る見方考え方を働かせた実践的・体験的活動の充実

(1) 生活経験や既習事項を生かした主体的・対話的で深い学びにつながる学習過程の工夫

(2) 小中高の系統性を踏まえ、児童生徒の学びの実感や変容が伴う題材計画



この講座は、「学習指導力アップ講座⑥【高・家庭】と合同開催です。同じ校種の先生方とも、違う校種の先生方とも交流できる貴重な機会です。それぞれの発達段階で、どのような学びを展開しているのか、小学校・中学校・高校の教員が集まって家庭科について語って、学び合しましょう。

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種	ステージアップ研修		

学習指導力アップ講座⑥【家庭（高）】

学習指導要領の趣旨を踏まえ、家庭科における資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりについて研修し、指導力の向上を図る。

令和7年 9月25日（木）10:00～（9:30受付開始）

<講師>

○ 茨城大学教育学部 教授 野中 美津枝 氏

<講座内容（方法）>

- ① 生活課題解決能力を育成する授業づくり（講義・演習）
- ② 知識構成型ジグソー法を用いた教材開発（講義・協議・演習）



<講師紹介>

茨城大学教育学部教授。博士（教育学）。管理栄養士、消費生活アドバイザー。
公立高等学校教諭、私立高等学校教諭として約18年間高校で家庭科を教える。

2008年4月より大学教員になり、九州女子大学、愛媛大学、茨城大学において家庭科教育法等を担当し、教員養成に務める。専門は、授業研究、消費者教育、食育。

主な著書：

「家庭科への参加型アクション志向学習の導入-22の実践を通して-」（共著、大修館書店）、

「新しい消費者教育-これからの消費生活を考える-」（共著、慶應義塾大学出版会）、

「生活課題解決能力を育成する授業デザインの実証的研究-授業評価・改善に関するモデル」（単著、福村出版）、

「ロールプレイングを導入した新しい家庭科授業-知識構成型ジグソー法の教材開発」（共著、教育図書）など。

<講座紹介>

高等学校学習指導要領（平成30年告示）家庭科の目標 より抜粋

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。



この講座は、「学習指導力アップ講座⑥【小中・家庭】と合同開催です。同じ校種の先生方とも、違う校種の先生方とも交流できる貴重な機会です。それぞれの発達段階でどのような学びを展開しているか、小学校・中学校・高校の教員が集まって家庭科について語って、学び合きましょう。

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座⑥【算数（小）・数学（中）】

全国学力・学習状況調査の結果から算数・数学指導の課題を確認し、学習指導要領の趣旨を踏まえ、これまでの算数・数学の授業づくりや学習評価を見直し、確かな学力の育成に向けた授業づくり等について、実践的な指導力の向上を図る。

令和7年 9月25日（木）10：00～（9：30受付開始）

<主な講師>

- 国立教育政策研究所 学力調査官 直海 知子 氏
- 県教育センター 指導主事

<講座内容（方法）>

- ① 算数・数学指導の課題と授業改善のポイント（講義）
- ② 算数・数学における確かな学力の育成に向けた授業づくり（演習）

<講師紹介>

国立教育政策研究所 学力調査官 教育課程調査官 直海 知子 氏

- ・ 専門分野：算数科教育（小学校）
- ・ 大阪府の公立小学校で教諭、教頭、校長としてご勤務され、算数の授業改善，研究に長年関わってこられました。その後，令和5年4月より現職に就かれております。
- ・ 主な講師実績等：
 - 教科書，日本数学教育学会論文，新算研，全算研などにおいて，多数執筆されております。

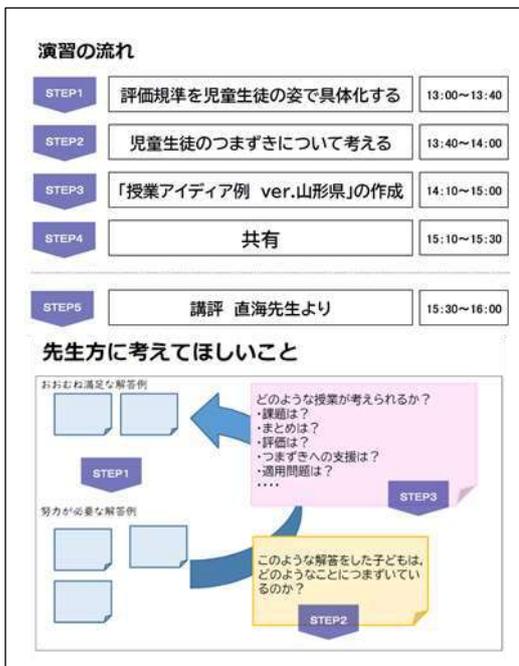
<講座紹介>

- ・ 全国学力・学習状況調査の結果をもとに，指導と評価の一体化を目指し，「算数・数学で育てたい資質・能力」，「児童・生徒の状況やつまずき」，「授業改善の手立て」について講義・演習を行います。

<令和6年度 受講者の声より>

- ・ 算数・数学の授業づくりにおいて，身につけさせたい資質能力を教師が捉え，子どもたちがどのようなところでつまずくのか予想し，それを乗り越える手立てを考える必要があることを学びました。
- ・ 普段は教材を身近なものやわかりやすくすることに焦点を当てて授業づくりをしていましたが，子どもがつまずきから授業をつくるという方法を新しく学ぶことができました。わからないとあきらめたり，嫌になってしまったりする生徒がいるので，小さな「できた」を大事にして達成感を持たせることができるように意識していきたいです。
- ・ 全国学力・学習状況調査の出題意図や，それを活用した授業づくりについて考えることができた。子どもがつまずきを，教師があらかじめ予想して，授業のねらいや方法を考えることが大切だということが再確認できた。
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果は見るのですが，それを授業の教材として活用することは考えたことがなかったので，とても勉強になりました。

<令和6年度の演習より>



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

学習指導力アップ講座⑦【情報（高）】

授業づくりについて講義と演習を通して学び、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現させるための学習指導力を向上させる。

令和7年10月17日（金）10：00～（9：30受付開始）

<主な講師>

○ 県教育センター 指導主事

<講座内容（方法）>

「情報Ⅰの授業づくり」について、「対話を中心とした演習」を通して学びます。

こんなお悩みないですか？



採用5年以内で「情報Ⅰ」を 担当している先生

- ・校内に同じ教科の先生がいないから相談相手がいない。
- ・課題設定がうまくいかない。
- ・自分の授業に自信が持てない

情報採用ではないが「情報Ⅰ」を 担当している先生

- ・情報Ⅰの指導内容を理解したい。
- ・情報Ⅰの指導方法について学ぶ機会がない。
- ・授業準備が大変で手が回らない。



情報を担当する先生方の悩みを解決していきます！

情報Ⅰを担当している先生方のネットワークを構築します。
授業づくりの悩みや実践事例を共有する場を作ります。

次の日からの授業づくりが楽しくなること間違いなし！



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

学習指導力アップ講座⑦【特別の教科 道徳】

学習指導要領における道徳教育の基本的な在り方、道徳教育の要である「特別の教科 道徳」の充実に向けての研修を行い、これからの道徳授業づくりのための実践的指導力の向上を図る。

令和7年10月17日(金) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>

- 文部科学省 初等中等教育局 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 堀田 竜次 氏

<講座内容(方法)>

- ① 今、求められる道徳教育及び道徳科の授業(講義)
- ② 道徳科の授業づくり(講義・演習)

・ 受講者と**対話型**で進める、**より実践的な講座**です。

(主な流れ)

- 自分の問題意識について確認する(自己を見つめる)→交流
- 対話型の講義・演習
 (道徳性とは? 考え、議論する道徳とは? 学校教育における道徳性の捉え方、自己を見つめる、多面的・多角的に考える、自己(人間)としての生き方についての考えを深める、明確な指導の意図を持つ、指導方法の工夫、ICT 端末の活用、年間指導計画、主体的に道徳性を養うために、評価 等)
- 授業づくり演習
 (導入・展開・終末における学習活動(主な発問・予想される発言)指導上の留意点 評価の視点 等)
- 個・グループで作成した指導案、主発問を検討、発表+模擬授業、交流し、考えを深める
- 振り返り、質疑応答

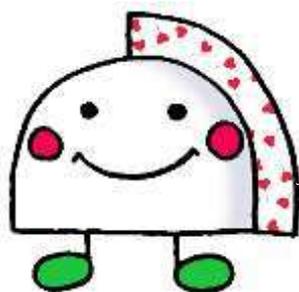
<参考動画>

[NITS 校内研修シリーズ 動画 No.147 「道徳科に求められる評価」](#)

→ 堀田先生が解説されています。

[道徳教育アーカイブ](#) (文部科学省)

→ 「特別の教科 道徳」の趣旨の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等が掲載されています。



道徳の授業について、一緒に考えてみませんか?
 授業づくりのヒントがたくさん詰まっています!



【訪問サポート対応】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として受講可能な基本研修	○	○	○	○

学習指導力アップ講座⑧【授業づくり基礎】

- (1) 中学校理科、音楽、美術、技術・家庭を、免許外で担当している教員及び、免許を所有する指導経験の浅い教員を対象とし、教科のねらいや特性についての理解を深め、学習指導及び実技に関する研修を行い、実践的指導力の向上を図る。
- (2) 小学校生活科の指導経験の浅い教員を対象とし、教科のねらいや特性についての理解を深め、学習指導及び実技に関する研修を行い、実践的指導力の向上を図る。

【訪問サポート対応】令和7年 5月9日(金)～(要相談)
P70の「訪問・来所サポート」の申込方法で申し込んでください。

<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事等

(1) 中学校

<講座内容(方法)>

- 中学校理科/音楽科/美術科/技術・家庭科(技術分野)/技術・家庭科(家庭分野)のねらいと授業の進め方について、指導主事が所属校にお伺いして対応します。

<対象>

- ※ 中学校・特別支援学校(中学部)で、以下のいずれかに該当する教員
- ① 免許外教科担当教員
 - ② 担当教科免許を所有しているが、指導経験の浅い教員

(2) 小学校

<講座内容(方法)>

- 小学校生活科のねらいと授業の進め方(講義・演習・実技)について、指導主事が所属校にお伺いして対応します。

<対象>

- ※ 小学校教員



<講座の特徴>

学習指導要領の解釈をはじめ、授業づくりのポイントや実技に関わる演習など、講座内容について御相談に応じます。所属校の教室環境や教材などを実際に活用しながら、授業づくりのお悩みについて一緒に考えます。個別の対応はもちろん、複数名での受講も可能です。

<R6年度受講者の声(昨年度まではセンターにて実施)>

家族、住生活、衣生活、食生活、それぞれの指導ポイントを研修できました。専門外でもすぐ活用できる内容で、非常に参考になりました。目的意識、価値づけや意味づけ、生徒間のかかわりから視野を広げさせる、生徒の学習の変容が見られたらOK、など教わりました。生徒の身近なものに着目させ、自分事として考える視点、学習者中心の授業、教師と生徒と一緒に学ぶ授業を目指して頑張りたいと思います。(技術・家庭科 家庭分野)



オンライン型研修 (所属校等) 【午後開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

協働的な学びの授業づくり講座

「協働的な学び」の位置づけを確認し、「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための授業づくりについて、対話を中心として参加者全員で考える。

令和7年 9月12日(金) 14:00～(13:30受付開始)

<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事

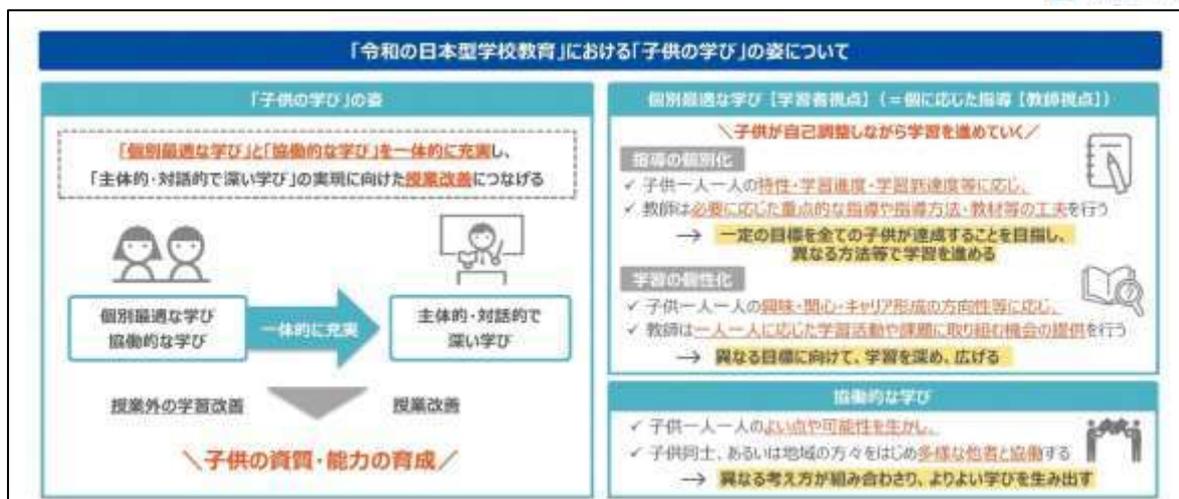
<講座内容(方法)>

- ① 「協働的な学び」とは(講義)
「令和の日本型教育」における「協働的な学び」の位置づけを確認できます。
- ② 授業づくりについて(グループワーク)
「協働的な学び」を授業に反映させるためにはどのようにすればよいのかを、対話を中心としたグループワークによって考えを深め、自分なりに授業に生かすヒントを得ることが出来ます。

<参考資料>

令和3年3月「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)【総論解説】

https://www.mext.go.jp/content/20210329-mxt_syoto02-000012321_1.pdf



文部科学省 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseiouen/mext_01492.html



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	○	○	○
高2年次・全3年次フォローアップ研修					
理 科 実 験 基 礎 講 座					
理科実験の講義・演習を通して、安全な実験方法について学び、生徒実験を安全かつ円滑に行うための実験技能と実践的指導力の向上を図る。					
令和7年 6月 20日(金) 10:00～(9:30受付開始)					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<主な対象> 中学校・高校の始発期にあたる理科の先生、または、実習教諭で、専門外で理科を担当されている先生におすすめです。一緒に理科の実験を楽しみましょう！					
<講座内容(方法)> ○ <u>中学校で扱う基礎的な実験を中心</u> とします。また、普段、学校では扱わないような実験にも挑戦してみます。 ○ 実験を行うにあたり、注意すべき点や観察すべきポイントについて整理しながら行います。					
<令和6年度の講義> ① 廃液業者から廃液処理の方法について講義をしていただきました。 ② 化学実験では、2つの溶液を混ぜると色が変わる実験を行い、それぞれの溶液の濃度を変えることで反応速度の変化を調べ、色の変化の時間をコントロールするにはどうすればよいかを調べる実験を行いました。 ③ 物理実験では、液体窒素の性質や取り扱いについて整理しながら、いろんなものを液体窒素に入れるとどうなるか観察してみました。また、液体窒素中では豆電球やLEDの明るさはどうなるか調べてみました。					
<受講者の声より> ○ 普段の授業では液体窒素の購入は价格的に難しいが、この実験でLEDが一旦強く輝いてから消えることや色によっても結果が違ふことなど学ぶことができた。 ○ 液体酸素がネオジム磁石にくっつくことや青いことが感動ポイントであった。面白さを追求することも大切だと感じた。 ○ 化学実験で初めて見た事象で自分が驚いたことをもとに生徒が実験をする際に同じような驚きを体験できるように担当の先生と情報を共有していきたいと思いました。 ○ 久しぶりに実験をする側であり、どうなるのかや、なぜそうなるのかを自然と考えることの重要性や予備実験で事前にどのような結果が生じるか確認することを学んだ。 ○ 生徒目線で実際の変化に触れることが、関心や学ぶ意欲につながることを実感することができた。					
<受講者の明日からの挑戦> ○ こなすだけの実験では生徒もつまらないであろうから、やるなら面白く感じてもらうためにはどこを工夫できるか、普段の実験でもう少し考え直したいと思う。 ○ 限られた授業の中で、目的を明確にして実験を行い、生徒の学びをより深めることができるよう研鑽を積んでいく。 ○ 実験の手法レパートリーや技術は足りないと感じているため、外部から吸収したり、実際に実験を実践してみることに努めていく。					



オンライン型研修 (所属校等) 【午後開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

小学校学級担任講座【カリキュラム・デザイン編】

主に小学校等における学級担任を対象とし、ウェルビーイングな学級づくりについての講義や演習、協議等を通して、小学校学級担任としての実践的指導力を高めるとともに、小学校教員の専門性を育む。

令和7年 5月28日(水) 14:00～(13:30受付開始)

<主な講師>

○ 山形大学 名誉教授 中井 義時 氏【R6と同様】

- ・ 山形県公立学校教員として、県内小学校及び山形県教育委員会に勤務、教育庁教職員室長、義務教育課長を歴任。
- ・ 平成28年3月、教育庁教育次長を最後に退職。
- ・ 平成28年4月より山形大学大学院教育実践研究科に勤務し、学生・院生の指導にあたっていると同時に、県及び市町村等の政策評価委員や教育アドバイザー、教育研修会等講師、教育振興計画策定委員長・いじめ問題専門調査委員会委員長等を務める。
- ・ 令和元年度より山形大学附属学校運営部に加わり、令和2年度からは運営部長として附属学校の運営に携わる。
- ・ 令和5年3月、山形大学大学院を退官、4月より同大学名誉教授となる。

<講座内容(方法)>

- ① カリキュラム・デザインの実践について(グループ協議・講師による個別指導)
- ② カリキュラム・デザインの進め方について(講義)

本講座では「カリキュラム・デザイン」を中心の演習しながら、目指す資質・能力を身につけていくための計画・実践・評価・改善(PDCA)のマネジメントの方法を学ぶことができる研修を進めていく予定です。受講者一人一人が所属校での実践に役立てることができるよう、可能な限り「個別最適な学び」になる研修にしていきたいと考えています。

<(参考) R6年度の講座の様子・受講者の感想>

中井先生から直接御指導いただいたおかげで、カリキュラム・デザインの方法やマネジメントしていく上で大切なポイントを学ぶことができました。また、自分が作成したカリ・マネ表に対してアドバイスもいただき、とても参考になりました。

カリキュラム・マネジメント表を作成することで、子どもへのよりよい指導につながることはもちろんですが、教員の働き方にもつながることが分かりました。

他校の先生方のカリキュラム・マネジメント表や、その時の中井先生からのアドバイスも、自分がその学年の担任になった時に参考にしたいです。

オンラインでの開催は本当に有難いと感じます。移動が不要で、短い時間の中で学びたいことが学べることができたり、他の学校の先生と情報共有することができたりなど、メリットばかりです。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

小学校学級担任講座【学級経営編】

主に小学校等における学級担任を対象とし、ウェルビーイングな学級づくりについての講義や演習、協議等を通して、小学校学級担任としての実践的指導力を高めるとともに、小学校教員の専門性を育む。

令和7年 7月10日(木) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>

- **都留文科大学 教養学部学校教育学科 教授 古屋 和久 氏【R6と同様】**
 - ・ 山梨大学教育学部を卒業後、山梨県内の小・中学校に勤務する。
 - ・ 1991年、東京大学教育学部学校教育学科研究生として、
佐藤学氏(東京大学名誉教授)のもとで学ぶ。
 - ・ 2003年より「学びの共同体」理論に基づく教育実践研究を本格化する。
 - ・ 2009年①NHK総合テレビ「クローズアップ現代“十歳の壁”を乗り越えろ」
2012年②NHK・Eテレ「ETV特集『輝け二十八の瞳』学び合い支え合う教室」
で実践が全国に紹介される。
 - ・ 2022年に見延町立身延小学校を定年退職し、現職。教育方法論ゼミ担当。
【研究テーマ】「学び合う教室文化」を育てる教育実践研究、社会科授業実践研究
【研究内容】「主体的・対話的で深い学び」を生み出す教室のあり方を、
授業づくり・人間関係づくり・教室空間づくりから探究。
- 【著書】③『「学び合う教室文化」をすべての教室に』(2018・世織書房)
④『「教室の未来」を創る12の教育実践』(2024・世織書房)

①NHK



②NHK



③著書



④著書



<講座内容(方法)>

① 古屋教授が目指している「学び合う教室文化」について(講義)

②彦「学び合う教室文化」を支える実践について(講義・演習)

令和6年度は「教室空間のデザイン」として4つの実践を、「『ひと』・関係づくり」として2つの実践を御紹介していただき、よりよい学級経営に在り方について研修を進めました。

「わからない」という事に対してポジティブにとらえる学級文化をつくっていく必要性を感じました。

子どもたちの「わからない」からつくる授業や、「わからない」と言えることは素敵なことだと価値付ける学級をつくりたいです。

古屋先生の写真を見て、様々なインスピレーションを受けました。「こんなことをやったら学級の子どもたちは喜ぶだろうな」とワクワクしながらお話を聞きました。

教室を「第2の家」として感じられるように環境を整えることで、児童が安心して学び合い、支え合うことができる空間を目指したいと思います。

令和7年度は、「授業づくり(学び合う学び)」にクローズアップし、「対話的な学び」「深い学び」「教科書の読み方」「教科日記」等、古屋教授の実践を踏まえながら御教示いただき、よりよい学級経営に在り方について、さらに研修を進める予定です。



オンライン型研修 (所属校等) 【午後開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	○

小学校学級担任講座【学習評価編】

主に小学校等における学級担任を対象とし、ウェルビーイングな学級づくりについての講義や演習、協議等を通して、小学校学級担任としての実践的指導力を高めるとともに、小学校教員の専門性を育む。

令和7年11月28日(金) 14:00～(13:30受付開始)

<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事

<講座内容(方法)>

- ① 学習指導要領の着実な実施に向けた学習評価の在り方について(講義)
- ② 「指導と評価の一体化」のための学習評価(小学校国語・算数を中心)について(講義・演習・協議)

学習評価の本来の目的は、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすることです。

「児童にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも、学習評価の在り方は重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性のある取組みを進めることが求められています。

本講座では、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の事例等をもとに、実際の児童の言動・ノート等を通じた評価を試みながら研修を進めていく予定です。

<(参考) R6年度の講座の研修資料・受講者の感想>

題「除法を活用して、被除数と除数の関係を考え、ブロックを操作したり図に表したりしながら、言葉や図、式を使って筋道立てて考えようとしている」について

ケーキが23こあります。1箱に4ここのケーキを入れていきます。全部のケーキを入れるには、箱は何箱あればよいでしょうか。(単元6時間目)

<「ノートの記述内容」(主体的に学習に取り組む態度)>



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

評価というと、通知表やそれに向けた評価を思い浮かべますが、日頃の子どもたちの丁寧な見取りだと改めて学びました。日頃から明確な視点をもつ必要性を実感しました。

具体的な場面(授業動画・子どものノート)について意見を交流したり、この場合は“おおむね満足できる”、この場合は“十分満足できる”であるということを教えていただいたりして、学びが深いものになりました。

正しい答えや一つだけの正解を認めて、できた児童だけ評価するのではなく、粘り強く考える姿勢や児童の考えの変容など、子どもたちが自信をもてるような評価や授業改善をしていきたいです。

評価の観点やタイミングを学年間で話し合い、共通理解をもって取り組むということを継続していきたいです。



オンライン型研修 (所属校等) 【午後開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

複式学級指導基礎講座

複式学級における学級経営・学習指導についての基本的な内容や、複式学級の学級づくり・授業づくりについての実践等を学ぶことを通して、複式学級における実践的指導力の向上を図る。

令和7年 5月16日(金) 14:00～(13:30受付開始)

<主な講師>

○ 北海道教育大学札幌校 へき地教育アドバイザー
柿崎 秀顕 氏

- ・ [全国へき地教育研究連盟](#)※1 会長
- ・ [北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター](#)※2
教員研修用オンデマンド映像 監修

※1 各都道府県へき地教育研究団体の活動を促進し、関係機関団体との連絡を密にして、へき地学校、小規模学校、複式学級を有する学校、分校等の教育の充実をはかり、もってへき地における教育の振興をはかることを目的とする施設

※2 全国の中でも唯一のへき地・小規模校を研究する施設




- <講座内容(方法)>
- ① 複式学級における学級経営・学習指導の基本について(講義)
 - ② 複式学級における学級づくり・授業づくりの実践について(講義)

<R6の研修資料と受講者の感想(一部)>

(講師:北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター副センター長(兼)/釧路校教授 川前あゆみ 氏)

おわりに

いま、改めて注目されている
へき地・複式・小規模校教育

↓

その理由として、体験的活動・子どもの主体的な学習・異学年指導・一斉指導と個別指導の柔軟な指導が良さとして再認識。

さらに、その一連の教育活動が、**インクルーシブ教育・ユニバーサルデザイン・個別最適な学びと協働的な学び**、として再評価されつつある。

おわりに

-「個別最適な学び」「協働的な学び」の視点から-

☆小規模校での「個別最適な学び」「協働的な学び」について、受講者の皆さんはどのようにとらえ、これからの教育活動を考えるでしょうか。

↓

「令和の日本型学校教育」では、「個別最適な学び」推進するために、「指導の個別化」と「学習の個別化」を提起されている。

引用: 柿崎・川前編著『自律的・協働的な学びを創る教師の役割』(旺文)学芸出版 2022年

→複式学級、少人数指導の**強みとして位置づけられる視点。**

複式学級における授業づくりを、今までより明確にイメージすることができました。間接指導の際の手立てや準備、学習リーダーの役割や間接指導中の子どもたち自身での学習の進め方など、明日からの授業改善に生かせる学びがたくさんありました。

自分たちで学習が進められるようになるためには、手がかける少人数だからこそ、子どもたちに任せることを意識し、任せられる時間が長くできるように指導していくことが大事であることが分かりました。

複式学級での指導力は、今求められている力の一つだと思いました。少人数のためマイナスに捉えられてしまうことも、“見方を変えることでプラスに考えられることがたくさんある”と思いました。



オンライン型研修 (所属校等) 【午後開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

特別活動を要としたキャリア教育実践講座

学習指導要領に基づいたキャリア教育実践の在り方について理解を深めるとともに、「キャリア・パスポート」とは何か、その取扱い方と校種間の引継ぎ等についての実践事例をもとに、実践的指導力を高める。

令和7年 7月22日(火) 14:00～(13:30受付開始)

<主な講師>

○ 國學院大学 人間開発学部 教授 杉田 洋 氏【R7新規】

※ 大学 Web ページより

<https://www.kokugakuin.ac.jp/account/91897>



- ・ 学生時代に青少年の健全育成のためのボランティア活動に没頭。
このことにより埼玉県からアメリカ・カナダに派遣され、教職を目指す。
- ・ 昭和55年4月より埼玉県内小学校4校に18年間の勤務、浦和市教育委員会・さいたま市教育委員会に6年間の勤務を経て、国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教科調査官、同視学官を務めた。
- ・ 平成27年4月より現職。
日本特別活動学会理事・全国特別活動研究会顧問
NHK「でーきた」番組委員・文部科学省小学校指導資料作成協力者
小学校学習指導要領作成協力者・中央教育審議会委員 などを歴任。
- ・ 平成28年より、JICAのエジプト国へのTOKKATSUの導入に関わる。

<講座内容(方法)>

- ① 学習指導要領に基づいたキャリア教育の在り方について(講義)
- ② 特別活動における実践事例について(講義)

【今、なぜ特別活動が大切なのか(杉田 教授)】

『hito*yume 第28号(ぶんけい・2019年2月発行)』より引用



- ・ 学校という小さな社会の中で、経験しながら生き方を学ぶ特別活動への期待が大きいと言えるでしょう。
- ・ 特別活動における一番の課題は、教師力の連鎖が働きにくいことです。教科書がない特別活動は、教師から教師へと伝承的に指導法が伝えられてきました。
- ・ 特別活動の最も重要な特質の1つに、子どもたちの自主的な活動ということがあります。やりながら体得して覚えていく、あるいは活用していくことが大切であり、…
- ・ 特別活動はキャリア教育の要の役割が期待されています。キャリア教育は、いわば資質・能力論の中心に置かれている考え方です。社会の中で生きて働く資質・能力を育てる、良き職業人、良き文化人を育てるという観点から、学びの自覚が重要であり、学びの自覚化を促すためのポートフォリオ的な教材が必要になってきます。
- ・ 海外が日本の教育に助けを求めようとする時代が来たのではないかと感じています。その象徴が特別活動(TOKKATSU)です。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	○	○

生徒指導力アップ講座【集団指導力編】

学校生活における児童生徒の社会性や人間関係づくりの理論と実際の研修を実施し、心の発達を支える様々なソーシャルスキルを体験しながら実践的指導力の向上を図る。

令和7年 7月 3日(木) 10:00～(9:30受付開始)

<講師>

- 法政大学文学部心理学科
教授 渡辺 弥生 氏

渡辺弥生先生のHPを
こちらからご覧いただけます →



<講師紹介>

教育学博士。大阪生まれで、吉本の笑いに育てられながら中学校の時に三重県に転校することになり、高校は津に通う。自然の中で、バスケットに力を入れながらも好奇心旺盛に。大学は初めて親元を離れ、広大な関東平野に綺麗な稜線を見せる筑波山の近くにある筑波大学に通う。そこで大学院から助手まで勤め人工的な大学環境から山の上に建つ静岡大学で初めて教鞭をとる。三保の松原など海と山に恵まれた静岡県で教職や教育を目指す学生を指導し、教育のあり方に関心を持つ。現在は、外濠の桜が毎年美しい市ヶ谷で、晴れた日には遠く富士山を見ながら研究している。途中、ハーバード大学教育学研究科、カリフォルニア大学サンタバーバラ校の客員研究員を経験する。

ソーシャル・エモーショナル・ラーニング(SEL)の考えをもとに、社会性や感情力がどのように発達しているのかそのメカニズムの解明と同時に、各発達時期に生じるさまざまな対人関係(いじめや葛藤など)の危機を予防するためのソーシャルスキル教育を展開している。

<講師の著書>

- 小学生のためのソーシャルスキル・トレーニング (明治図書)
- 中学生・高校生のためのソーシャルスキル・トレーニング (明治図書)
- 感情の正体 (筑摩書房)



その他著書多数

<講座内容(方法)>

- ① 学校生活における社会性や人間関係づくり(講義)
 - ② 心の発達を支えるソーシャルスキル教育(講義・演習)
- 感情は常に変化し、いつも同じではありません。人間は感情の動物だからこそ、感情によって幸せを感じる一方で、ときには振り回され、思わぬトラブルが生じることもあります。「自分の気持ちをうまくコントロールできたら…」と思ったことはありませんか?子どもたちの心の成長や感情について、理論だけでなく、実践的なマネジメント方法も交えながら一緒に学びます。一人ひとりの心の成長を、集団全体の成長へとつなげていきましょう。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

生徒指導力アップ講座【児童生徒理解力編】

解決志向型アプローチの視点に立った児童生徒理解、教育相談について研修を実施し、広く深い児童生徒理解につなげ、教育相談の力の向上を図る。

令和7年 10月 17日(金) 10:00～(9:30受付開始)

<講師>

○ 目白大学 教授 黒沢 幸子 氏

国公立私立学校スクールカウンセラー、精神神経科病院/クリニック及び小児科のカウンセラー、産業臨床カウンセラー、上智大学・立教大学大学院等の非常勤講師等を経て、現在に至る。臨床心理士、公認心理師、産業カウンセラー。

プロフィール詳細→[目白大学教員情報](#)



<講師の著書>

○ 『指導援助に役立つ スクールカウンセリング・ワークブック』(金子書房)



○ 『速解チャート付き教師とSCのためのカウンセリング・テクニック4：保護者とのよい関係を積極的につくるカウンセリング』共著(ぎょうせい)



その他著書多数

<講座内容(方法)>

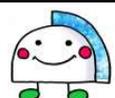
- ① 解決志向型アプローチの視点に立った児童生徒支援について(講義・演習)
- ② 解決志向型アプローチの考え方を生かした教育相談について(講義・演習)

○解決志向型アプローチとは

- ・問題に注目するよりも、持っているリソース(資源・資質)を活かし、望む未来イメージに向けて、具体的な目標を作り、新たに解決や未来をつくっていくアプローチ。
- ・問題よりも肯定的な側面に焦点を当てるため、自己効力感を高めやすい。

○こんなことが学べます

- ・解決志向型アプローチの考え方はもちろん、児童生徒を支援する方法について、演習を交えながら体験的に学ぶことができます。
- ・児童生徒理解をより広く深いものにしたい方、教育相談の実践的な力を向上させたい方の受講をお待ちしています。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○
		高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

「ことばの教室」講座【基礎・基本編】

- ・ 言語指導に関する基礎的な知識や指導法を身に付ける。
- ・ 言語通級指導及び教室経営等について研修し、指導者としての意欲と資質、専門性の向上を図る。

令和7年 5月23日(金) 10:00～(9:30受付開始)

- ※ 【基礎・基本編】のみの受講が可能です。
- ※ 「通級指導教室新担当基礎研修」(集合型研修)と同時開催です。

<主な講師> ○ 前県立山形聾学校長 庄司 美千代 氏

<講座内容(方法)>

- ① 言語障がいとその教育についての概説(講義)
- ② 教室運営(講義・演習)
- ③ 実態把握や指導計画(講義・演習)
- ④ 言語障がいの指導(講義・演習)

<講座紹介>

- ・ ことばの教室担当教員や通級指導教室担当教員、言語指導にかかわる支援員等を対象に行う講座です。
- ・ 令和6年度まで山形県立聾学校長としてお勤めいただいた庄司先生より、基礎的・基本的な内容について講義いただきます。
- ・ 言語障がいに関する講義や指導の他に、受講者同士の意見交換の場を設定し、より多くの学びや気づきが得られる講座になっています。

<こんな方におすすめ>

- ・ ことばの教室や通級指導教室【言語】、その他言語に関する指導支援を行っている方
- ・ 言語障がいに関して基礎から学びたい、改めて学び直したいと思っている方
- ・ 児童生徒への指導支援や教室運営等で悩みや不安を抱えている方

<こんな力がつきます！～令和6年度 受講者の声より～>

- ・ その子の障がい(課題や問題点)だけに目を向けるのではなく、一人の子どもとして、その子の全体を見る視点を持つことが大切であることを学びました。
- ・ 子どもの構音状態を把握するために会話を楽しみ、楽しく会話をしながらも子供の全体も、発語機関の運動機能や癖など細やかなところもみとることができるよう、心と技術を磨いていきたいと思いました。
- ・ 教材の工夫や資料などをたくさん紹介していただき、今後動画の講座や本などを参考にしながら実践力を付けていきたいと思いました。
- ・ うまくいかない時は、自分の指導やかかわり方をふり返り、改善に向かう姿勢を忘れないようにしようと思います。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		○	◎	◎	○
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

「ことばの教室」講座【指導・理論編】

- ・ 言語指導に関する基礎的な知識や指導法を身に付ける。
- ・ 言語通級指導及び教室経営等について研修し、指導者としての意欲と資質、専門性の向上を図る。

令和7年 9月12日(金) 10:00～(9:30受付開始)

- ※ 【指導・理解編】のみの受講が可能です。
- ※ 「通級指導教室新担当基礎研修」(集合型研修)と同時開催です。

<主な講師> ○ 東北福祉大学 教育部 教授 庭野 賀津子 氏

<講座内容(方法)>

- ① 通級指導教室担当者の役割(講義)
- ② 言語障がいの指導・評価(講義・演習)
- ③ 保護者・交流学級との連携(講義・演習)
- ④ 様々な事例の指導(講義・演習)

<講座紹介>

- ・ ことばの教室担当教員や通級指導教室担当教員、言語指導にかかわる支援員等を対象に行う講座です。
- ・ 東北福祉大学、庭野先生より多くの実践例をもとに、児童生徒への指導を中心に講義いただきます。
- ・ 言語障がいに関する講義や指導の他に、受講者同士の意見交換の場を設定し、より多くの学びや気づきが得られる講座になっています。

<こんな方におすすめ>

- ・ ことばの教室や通級指導教室【言語】、その他言語に関する指導支援を行っている方
- ・ 言語障がいに関していろいろな事例について知りたい方
- ・ 指導計画や評価について理解を深めたい方
- ・ 児童生徒への指導支援や保護者への対応等で悩みや不安を抱えている方

<こんな力がつきます！～令和6年度 受講者の声より～>

- ・ 今受け持っている児童について、もしかしたら自分の見立てが甘かったのではと、もう少し口腔内をよく見て、分析したいと思いました。
- ・ ことばの指導には、医療機関と保護者、学校の先生方の連携と協力が必要で、情報を共有しながら、子どもを真ん中にこれからも指導に当たりたいと思いました。
- ・ 保護者との連携では、まもなく就学時健診なので、教育相談票を見直し、もっと詳細に記入してもらえ形式にしたい。ことばの教育相談では保護者の方からの情報収集をより丁寧に行い、ニーズに合わせた適切な指導ができるようにしたい。
- ・ これまでのやり方を引き継ぐところの見極めをし、子どもたちが笑顔で通って来られる教室経営を大切にしたい。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

「ことばの教室」講座【早期支援・連携編】

- ・ 言語指導に関する基礎的な知識や指導法を身に付ける。
- ・ 言語通級指導及び教室経営等について研修し、指導者としての意欲と資質、専門性の向上を図る。

令和7年12月 5日(金) 10:00～(9:30受付開始)

- ※ 【早期支援・連携編】のみの受講が可能です。
- ※ 「通級指導教室新担当基礎研修」(集合型研修)と同時開催です。

<主な講師> ○ 国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 谷戸 諒太 氏

<講座内容(方法)>

- ① 言語と発達の遅れ(講義・演習)
- ② 早期支援(講義・演習)
- ③ 医療・福祉連携(講義・演習)
- ④ 現状と課題(講義・演習)

<講座紹介>

- ・ ことばの教室担当教員や通級指導教室担当教員、言語指導にかかわる支援員等を対象に行う講座です。
- ・ 国立特別支援教育総合研究所、谷戸先生より特に幼児期を中心に、早期支援・連携の重要性を講義いただきます。
- ・ 言語障がいに関する講義や指導の他に、受講者同士の意見交換の場を設定し、より多くの学びや気づきが得られる講座になっています。

<こんな方におすすめ>

- ・ ことばの教室や通級指導教室【言語】、その他言語に関する指導支援を行っている方
- ・ 幼児期の早期発見や支援、関わり方のポイントについて学びたい方
- ・ 医療や福祉との連携について学びたい方
- ・ 児童生徒への指導支援や保護者への対応等で悩みや不安を抱えている方

<こんな力がつきます！ ～令和6年度 受講者の声より～ >

- ・ 「成長の仕方は、人それぞれ違って当たり前です。大事なのは、発語だけでなく、意味理解や意思表示などのコミュニケーション全体ということです。」この部分は忘れず大事にしていきたいと思います。担当者として、子どもの気持ちを汲み取れる存在でいたいです。
- ・ 言語通級指導教室の担当者としての子どもや保護者とのかかわり方について、とても大切なことをたくさん学ぶことができました。
- ・ 一人の子どもとしてその子の全体を見ること、その子の心の面に目を向けることの大切さを改めて実感しました。
- ・ グループワークを多く取り入れていただき、他の先生の考えや思いを聴くことができたことなど、とても勉強になりました。



オンライン型研修 (所属校等) 【午後開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

特別支援学級講座【基礎・基本編】

- ・ 特別支援学級に関する基礎的な知識や指導法を身に付ける。
- ・ 特別支援学級について研修し、意欲と資質、専門性の向上を図る。

令和7年 6月18日(水) 13:00～(12:30受付開始)

- ※ 「特別支援学級新担任基礎研修(1回目)(オンライン型研修)と同時開催です。
- ※ 希望により、教育課程等に関する動画(「特別支援学級新担任基礎研修(1回目)」におけるオンデマンド型研修用の動画(講師:本センター指導主事・約120分)を視聴することができます。

<講座内容(方法)>

- ① 障がいの理解と支援について(講義・演習)
- ② 特別支援学級の学級経営について(講義・演習)

<講師紹介> 国立特別支援総合研究所 平沼 源志 氏

- ・ 専門分野:知的障がい、発達障がい
- ・ キーワード:特別支援学級、保健体育、アダプテッド・スポーツ
- ・ 主な著書:「苦手さのある子ども大丈夫!作って遊ぶゆると運動アイデア」(2022・明治図書)

<講座紹介>

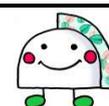
- ・ 平沼先生の豊富な経験に基づいた実践事例を交えながら、障がいの理解を深め、特別支援学級の学級経営の基礎をしっかりと学びます。特別支援学級担任2年目以降の先生やブランクがあり再び特別支援学級を担任される先生など、この機会に特別支援教育の知識をアップデートしませんか?お気軽にお申込みください。

<昨年度の内容>

- ・ 特別支援学級の現状と課題、知的障がいの概要・学習上の特性、特別の教育課程の編成、各教科を合わせた指導、自立活動の指導、授業づくりの考え方 等

<こんな力がつきます! ~令和6年度 受講者の声より~>

- ・ 教育的対応の基本として、現在の障がいの状態だけでなく、どのように過ごしてきたのかなどその子なりの育ちや経験があることを忘れない姿勢を学ぶことができました。
- ・ 自立活動の時間をどのように計画すべきか悩んでいましたが、平沼先生の「完璧でなくてもよい」「行ったり来たりしながら」という言葉をお聞きし、自立活動の計画は子どもの成長に合わせて柔軟に変化させていくものだ学びました。子どもの変容や成長を見届けながらカスタマイズしていきたいと思えます。
- ・ 実態や学年の違う集団でも、それぞれの目標を明確にして、発問や学習活動の工夫を行うことで、同一の題材で一斉授業ができることが分かりました。
- ・ 自発的な姿勢や活動を大切にしながら課題解決の力を育む授業づくりについて学ぶことができました。紹介していただいた Web サイト「すけっと」を活用していきたいと思えます。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

特別支援学級講座【自立活動（知的障がい）編】

- ・ 特別支援学級(知的障がい)の自立活動に関する基礎的な知識や指導法を身に付ける。
- ・ 知的障がい特別支援学級の学級経営について研修し、意欲と資質、専門性の向上を図る。

令和7年 9月26日(金) 10:00～(9:30受付開始)

- ※ 「特別支援学級新担任基礎研修【知的障がい】(2回目)(集合型研修)と同時開催です。
- ※ 知的障がい学級担任以外の方の受講も可能ですが、自立活動の「実践発表資料」の提出が必要です。【提出期限:9月11日(木)】

- <主な講師>**
- 県内特別支援学校 教諭
 - 各教育事務所 特別支援教育担当 指導主事

- <講座内容(方法)>**
- ① 「自立活動」について(実践発表・協議)
 - ② 知的障がい等の特別支援学級担任としての課題について「課題別部会研修」
(講義・事前アンケートによる課題や悩みに応じたグループ研修・情報交換)

- <講座紹介>**
- 「自立活動」のアイデアや悩みを共有し、具体的な解決策を見つけましょう!
- ・ 事前提出の実践発表資料をもとに、グループごとに発表・協議を行います。発表者の悩みや課題を一緒に解決し、よりよい自立活動を目指します。
 - ・ 「課題別部会研修」では、事前アンケートに基づいた受講者の悩みを指導主事と一緒に考えます。
 - ・ 同じ悩みを持つ教員同士のつながり、新たな視点、そして具体的な解決策が得られる実践的な研修です。



- <こんな方におすすめ>**
- ・ 自立活動の指導に悩んでいる先生
 - ・ より良い自立活動の授業を作りたいと考えている先生

- <こんな力がつきます! ~令和6年度 受講者の声より~>**
- ・ 今まで手探りで行っていた自立活動について、明日からの支援へのヒントをたくさんいただくことができました。特に、「生徒が自分の良いところや課題を自覚しているか」「その伸長・改善が自立活動のゴールだと理解しているか」という視点で自立活動を考えることが大切だと学びました。
 - ・ 普段は同じ生徒や先生との関わりであるため、手立てや考えが固定化されてきていましたが、様々な学校での取り組みや実態を知り、指導や支援についての新たな視点を得ることができました。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
			○	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			
特別支援学級講座【自立活動（肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴）編】					
<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級（肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴）に関する障がい種別の知識や指導法を身に付ける。 自立活動について、指導力の向上を図る。 					
令和7年 8月28日（木）10：00～（9：30受付開始）					
<ul style="list-style-type: none"> ※ 「特別支援学級新担任基礎研修【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴】（2回目）（集合型研修）と同時開催です。 ※ 肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴学級担任以外の方の受講も可能ですが、自立活動の「実践発表資料」の提出が必要です。【提出期限：8月13日（水）】 					
<主な講師> ○ 県内特別支援学校 教諭					
<講座内容（方法）> ① 「自立活動」の実践発表・協議 ② 「自立活動」について（講義・演習）					
<講座紹介> <u>「自立活動」のアイデアや悩みを共有し、具体的な解決策を見つけましょう！</u> <ul style="list-style-type: none"> 事前提出の実践発表資料をもとに、グループごとに発表・協議を行います。発表者の悩みや課題を一緒に解決し、よりよい自立活動を目指します。 県立特別支援学校の教諭による講義・演習を通して、各障がい種における具体的な事例をもとに、自立活動の意義や実践方法について学びます。 同じ悩みを持つ教員同士のつながり、新たな視点、そして具体的な解決策が得られる実践的な研修です。 					
<こんな方におすすめ> <ul style="list-style-type: none"> 【肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴】の障がいについて深く学びたい先生 自立活動の指導に悩んでいる先生 より良い自立活動の授業を作りたいと考えている先生 					
<こんな力がつきます！ ～令和6年度 受講者の声より～> <ul style="list-style-type: none"> 同じグループの先生方からたくさんのアイデアをいただき、悩んでいた子どもとの関わり方や支援の仕方について「次の一手」が見つかりました。日々子どもに向き合っていく上での熱量も共有できた感じがして、明日からの活力につながりました。 ケース会の演習を通して、他の先生方と話し合う大切さを学びました。日頃から多くの先生方と話をし、様々な視点から子どもを捉え、その生徒に合った支援を考えていきたいと思えます。学校でもケース会を行い、先生方と連携を深めていきたいです。 それぞれの障がい種ごとにフォーカスを当てた研修がないので、今回の研修は貴重な時間になりました。 					



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

特別支援学級講座【自立活動（自閉症・情緒障がい）編】

- ・ 特別支援学級（自閉症・情緒障がい）の自立活動に関する基礎的な知識や指導法を身に付ける。
- ・ 自閉症・情緒障がい特別支援学級の学級経営について研修し、意欲と資質、専門性の向上を図る。

令和7年10月15日（水）10：00～（9：30受付開始）

※ 「特別支援学級新担任基礎研修【自閉症・情緒障がい】（2回目）（集合型研修）と同時開催です。

※ 自閉症・情緒障がい学級担任以外の方の受講も可能ですが、自立活動の「実践発表資料」の提出が必要です。【提出期限：9月30日（火）】

<主な講師>

- 県内特別支援学校 教諭
- 各教育事務所 特別支援教育担当 指導主事

<講座内容（方法）>

- ① 「自立活動」について（実践発表・協議）
- ② 自閉症・情緒障がい等の特別支援学級担任としての課題について「課題別部会研修」（講義・事前アンケートによる課題や悩みに応じたグループ研修・情報交換）

<講座紹介>

「自立活動」のアイデアや悩みを共有し、具体的な解決策を見つけましょう！

- ・ 事前提出の実践発表資料をもとに、グループごとに発表・協議を行います。発表者の悩みや課題を一緒に解決し、よりよい自立活動を目指します。
- ・ 「課題別部会研修」では、事前アンケートに基づいた受講者の悩みを指導主事が一緒に考えます。
- ・ 同じ悩みを持つ教員同士のつながり、新たな視点、そして具体的な解決策が得られる実践的な研修です。

<こんな方におすすめ>

- ・ 自立活動の指導に悩んでいる先生
- ・ より良い自立活動の授業を作りたいと考えている先生



<こんな力がつきます！ ～令和6年度 受講者の声より～>

- ・ 自立活動は、短所を克服する時間ではなく、長所を伸ばす活動なのだと認識を改めることができました。子どもと長所を共有しながら、さらに伸ばせる活動を一緒に考えることが大切だと学びました。
- ・ 担当する一人ひとりの児童生徒の実態は違いますが、同じように悩んで同じように毎日工夫している先生がいることで心強く感じました。実践発表を通して、こんなこともできるかも！あんなこともしてみたい！という気持ちになったので、目の前の生徒へ還元できるようにしていきたいです。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	○	◎	◎	○

配慮を要する児童生徒への支援講座【基礎・基本編】

通常の学級の中で、支援が必要な児童生徒の理解と対応について特別支援教育と生徒指導の側面からの研修を実施し、実践的指導力の向上を図る。

令和7年 7月24日(木) 10:00～(9:30受付開始)

<講座内容(方法)>

- ① 特別な支援が必要な児童生徒の理解と対応について(講義・演習)
- ② 2次的な障がいの予防と対応(講義)
- ③ 進学や就労に向けた進路指導(講義)
- ④ 通常の学級における授業づくり・学級づくり(講義)
- ⑤ 校内体制と保護者との連携(講義)

<講師紹介> 宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 氏

- ・ 専門分野：特別支援教育、発達障がい
- ・ キーワード：教育相談、保護者支援、通級による指導、発達障がい
- ・ 主な著書：「みんなが輝くために(舞台は通級指導教室)1巻～4巻」(学びリンク)
「発達障害のある子の学びを深める教材・教具・ICTの教室活用アイデア」
(明治図書出版)
「特別支援教育をサポートする読み・書き・計算指導事例集」(ナツメ社)
など多数

<講座紹介>

- ・ 通常の学級に在籍する「配慮を要する児童生徒の支援」について、一人ひとりに応じた具体的な支援の方法を学びます。発達障がいのある子どもたちの特性や、高等学校も含めた各ライフステージに合わせた支援のポイント、そして保護者との連携や校内体制の充実など、教員として知っておきたい情報を網羅しています。発達障がいのある児童生徒への理解を深め、より効果的な支援を行いたい先生はぜひお申込みください!

<こんな力がつきます!～令和6年度 受講者の声より～>

- ・ 具体的な事例を通して、それぞれの発達障がいの特性や、それに合わせた支援方法を理解することができました。先生のお人柄もあり、楽しく研修させていただきました。
- ・ これまでできないことに目を向けてしまっていたのですが、本人にとってやりやすいやり方をまだ見つけられていないだけだと心に留めて、子どもの目線に立って支援の方法や内容を一緒に探していきたいと思えます。
- ・ 12年間の就学期間を見据え、本人が卒業後に自分で考えたり支援を依頼したりできるように指導していくことが大切だと学びました。
- ・ その子の特性や取り組んだ支援、結果を残して次の年に引き継ぐことが重要であることを学びました。新年度いつもゼロスタートになっていましたが、子どもの状況を引き継いでいくことで、適切で円滑な支援ができていくのだと実感しました。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		○	◎	◎	○
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

配慮を要する児童生徒への支援講座【ICT活用編】

- ・ 特別支援教育における授業の在り方について、障がい特性を踏まえた実態把握、授業実践、学習評価等の視点から研修を実施し、専門性の向上を図る。
- ・ ICTを用いた授業実践について研修し、深い学びにつながる授業力を身に付ける。

令和7年10月10日(金) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師> ○ 帝京大学 教育学部 教授 金森 克浩 氏

<講座内容(方法)>

- ① 特別支援教育における授業の在り方
- ② 授業づくりと授業改善
- ③ ICTを用いた授業づくり

<講座紹介>

- ・ 全ての教員を対象に行う講座です。通常の学級や通級指導教室、特別支援学級はもとより、特別支援学校の先生方にもおすすめの講座です。
- ・ 帝京大学、金森先生より、配慮が必要な児童生徒への学び方について講義をいただきます。その子の最適な学び方を考える良い機会となります。

<こんな方におすすめ>

- ・ 通常の学級の教員で、配慮が必要な児童生徒への対応について学びたい方
- ・ 通級指導教室や特別支援学級の教員で、授業の進め方や児童生徒への支援について学びたい方
- ・ 特別支援学校の教員で、児童生徒が興味関心を示すような教材等について知りたい方
- ・ 高等学校の教員で、配慮を要する生徒への教材の工夫について学びたい方

<こんな力がつきます！～令和6年度 受講者の声より～>

- ・ ICTの活用によって、児童の自己決定や選択の幅が広がることを学びました。特に障がいがある子どもたちの思いに触れることで、どうすればできるか一緒に考えることの大切さを改めて認識することができました。
- ・ 子どもたちの可能性を伸ばすために、多様な学び方を認めていけるようにすることの大切さを学びました。本人の分かる形で選択肢の提示の仕方や選択方法を考えていく必要があることが分かりました。
- ・ 実践を通して、子どもたちにとって有用なタブレットの使い方やアプリを見つけることができたのと同時に、それらを見つける手掛かりとなる情報も得ることができました。
- ・ 中学校で教室での活動に参加することに困難を抱えている生徒たちに、ICTツールやアプリを活用したい。楽しさの中から活動や学びを生み出す、という考えを大切に、少しでも楽しみながら学習のつまずきや不安を取り除く手段として活用してみたい。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			
授業におけるICT活用講座①【Google Workspace 編】					
各教科の目標と主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用による授業改善につながる「教員のICT活用指導力の育成」を図る。					
令和7年 7月 1日(火) 10:00～(9:30受付開始)					
<主な講師> グーグル合同会社派遣講師					
<講座内容> ・Google Workspace for Educationの主要アプリの教師としての操作方法を習得する ・Google Workspace for Educationの授業での活用場面・活用方法を考える ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びについて理解を深める					
<こんな人をお待ちしています>					
① これからGoogle Workspace for Educationを使い始める人 ・基礎から丁寧に操作方法を習得することができます。 ・受講後は、授業での具体的な活用場面・活用方法をイメージできるようになります。					
② 既にGoogle Workspace for Educationを使っており、さらに使いこなしたい人 ・便利な機能やアプリ間の連携など、ちょっと進んだ活用法を学ぶことができます。 ・経験豊富な講師に質問することで、日頃のモヤモヤを解消することができます。					

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			
授業におけるICT活用講座①【SKYMENU Cloud 編】					
各教科の目標と主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用による授業改善につながる「教員のICT活用指導力の育成」を図る。					
令和7年 7月 1日(火) 10:00～(9:30受付開始)					
<主な講師> Sky株式会社派遣講師					
<講座内容> ・SKYMENU Cloudの教師としての操作方法を習得する ・SKYMENU Cloudの授業での活用場面・活用方法を考える ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びについて理解を深める					
<こんな人をお待ちしています>					
① これからSKYMENU Cloudを使い始める人 ・基礎から丁寧に操作方法を習得することができます。 ・受講後は、授業での具体的な活用場面・活用方法をイメージできるようになります。					
② 既にSKYMENU Cloudを使っており、さらに使いこなしたい人 ・便利な機能や活用事例などを学ぶことで、スキルアップを図ることができます。 ・経験豊富な講師に質問することで、日頃のモヤモヤを解消することができます。					



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修	◎	◎	◎	◎
高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種 ステージアップ研修					

授業におけるICT活用講座①【ロイロノート・スクール編】

各教科の目標と主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用による授業改善につながる「教員のICT活用指導力の育成」を図る。

令和7年 7月 1日(火) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師>

株式会社LoiLo 派遣講師

<講座内容>

- ・ロイロノート・スクールの教師としての操作方法を習得する
- ・ロイロノート・スクールの授業での活用場面・活用方法を考える
- ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びについて理解を深める

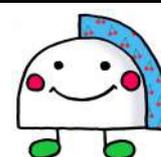
<こんな人をお待ちしています>

- ① これから SKYMENU Cloud を使い始める人
 - ・基礎から丁寧に操作方法を習得することができます。
 - ・受講後は、授業での具体的な活用場面・活用方法をイメージできるようになります。
- ② 既に SKYMENU Cloud を使っており、さらに使いこなしたい人
 - ・便利な機能や活用事例などを学ぶことで、スキルアップを図ることができます。
 - ・経験豊富な講師に質問することで、日頃のモヤモヤを解消することができます。

※ 授業におけるICT活用講座①では、【Google Workspace 編】 【SKYMENU Cloud 編】 【ロイロノート・スクール編】 の3つから1つを選択し、受講していただきます。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			
授業におけるICT活用講座②【FigJam・生成AI編】					
各教科の目標と主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用による授業改善につながる「教員のICT活用指導力の育成」を図る。					
令和7年 9月24日(水) 10:00～(9:30受付開始)					
<主な講師> グーグル合同会社派遣講師					
<講座内容> ① FigJamを活用した個別最適な学びと協働的な学びについて(講義・演習) チーム向けのオンラインコラボレーションホワイトボードである「FigJam」を題材に、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びについて理解を深めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・FigJamの概要紹介 ・操作体験、他アプリとの連携、応用機能等 ・アプリを活用した事例紹介 ② 生成AIの活用について(講義・演習) Googleの生成AI「Gemini」を題材に、教職員が校務で生成AIを利活用する方法、児童生徒が学習活動で生成AIを利活用する方法について、理解を深めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・AI(人工知能)とは? ・Geminiを触ってみよう ～効果的な指示(プロンプト)の入力の仕方とヒント～ ・生成AIはどんな場面で活用すべき? ～Gemini、検索、人の有効な活用場面を考える～ ・Geminiの活用事例や活用が見込める場面 ・生成AIを安全に利用するために ～偏見、ハルシネーション、ディープフェイクについて～ 					
<こんな人をお待ちしています> ① これからFigJamを使い始める人 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎から丁寧に操作方法を習得することができます。 ・受講後は、授業での具体的な活用場面・活用方法をイメージできるようになります。 ② これから生成AIを使い始める人 <ul style="list-style-type: none"> ・生成AIを実際に使ってみることができます。 ・効果的な指示(プロンプト)の入力方法等について学ぶことができます。 ・受講後は、校務や授業での具体的な活用場面をイメージできるようになります。 ③ 既にFigJamや生成AIを使っており、さらに使いこなしたい人 <ul style="list-style-type: none"> ・便利な機能や活用事例などを学ぶことで、スキルアップを図ることができます。 ・経験豊富な講師に質問することで、日頃のモヤモヤを解消することができます。 ④ ICTを活用して、個別最適な学びと協働的な学びを実現したい人 <ul style="list-style-type: none"> ・FigJamや生成AIの活用法を理解することにより、それらを活用した授業づくりについて考えることができるようになります。 					



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修				
管理職のためのICT活用講座					
ICT活用推進のヒントとなる管理職としてのマインドセットを学ぶ。 ICT活用による業務省力化や利便性向上を図るための方法を身につける。					
令和7年 8月 8日(金) 10:00～(9:30受付開始)					
<主な講師> グーグル合同会社派遣講師					
<講座内容>					
① Google 管理職向け研修					
<ul style="list-style-type: none"> ・「心理的安全性」の大切さとは？ ・ICT促進に必要な「Unlearn (学習棄却)」とは？ ・上記を校内で実践するためのアイデアを共有する ・GIGA School 構想の背景や国内外のICT教育の状況について学ぶ 					
② Google 校務活用研修					
<ul style="list-style-type: none"> ・コラボレーションで業務を効率化 コラボレーションの3要素とは コラボレーションが生きる「共同編集」 ・モノと情報の共有 Google チャットの活用で活発な情報の共有・コミュニケーション Google カレンダーの活用で学校行事やスケジュール共有 ・コラボレーションが活かされた事例の紹介 					
※ 講座内容②は、「校務DX講座」の講座内容①と同じ内容です。					
<こんな人をお待ちしています>					
① これからICT活用を推進していきたいと考えている管理職					
<ul style="list-style-type: none"> ・「心理的安全性」「Unlearn (学習棄却)」といったICT活用推進に必要なマインドセットを学ぶことができます。 					
② 既にICT活用を推進しており、さらに加速させたい管理職					
<ul style="list-style-type: none"> ・講師や他の受講者とアイデアを共有することで、新たな気付きを得ることができます。 ・経験豊富な講師に質問することで、日頃のモヤモヤを解消することができます。 					
③ ICTの操作に不安のある管理職					
<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド活用の基本である「共同編集」や、校務DXに活用できる「チャット」「カレンダー」等について、基礎から学ぶことができます。 					



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
			◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			
校 務 D X 講 座					
ICTの活用による「校務の効率化の実現」を図る。クラウドサービスの一つである Google Workspace for Education を校務に活用した省力化や利便性向上を図る。					
令和7年10月16日(木) 10:00～(9:30受付開始)					
<主な講師> グーグル合同会社派遣講師					
<講座内容> ① Google 校務活用研修 <ul style="list-style-type: none"> ・コラボレーションで業務を効率化 コラボレーションの3要素とは コラボレーションが生きる「共同編集」 ・モノと情報の共有 Google チャットの活用で活発な情報の共有・コミュニケーション Google カレンダーの狩るようで学校行事やスケジュール共有 ・コラボレーションが活かされた事例の紹介 ② Google サイト研修 <ul style="list-style-type: none"> ・Google サイトの概要 ・操作体験 ・他アプリとの連携 ・応用機能等 ・アプリを活用した事例紹介 ※ 講座内容①は、「管理職のためのICT活用講座」の講座内容②と同じ内容です。					
<こんな人をお待ちしています> ① これから Google Workspace for Education を使い始める人 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎から丁寧に操作方法を習得することができます。 ・受講後は、校務での具体的な活用場面・活用方法をイメージできるようになります。 ② 既に Google Workspace for Education を使っており、さらに使いこなしたい人 <ul style="list-style-type: none"> ・便利な機能や活用事例などを学ぶことで、スキルアップを図ることができます。 ・経験豊富な講師に質問することで、日頃のモヤモヤを解消することができます。 ③ 校務DXを推進したい人 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド環境を活用した業務効率化の方法や、情報共有の方法について詳しく学ぶことにより、校務DXをさらに加速させることができます。 ・Google サイトについて詳しく学ぶことにより、学校ポータルサイトなど、校務DXに役立つ Web サイトを作れるようになります。 					



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	高2年次・全3年次フォローアップ研修 全校種ステージアップ研修			

情報活用能力を育む授業づくり講座

ICT活用を通して、各教科の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて児童生徒の情報活用能力を育む授業づくりの実践的な指導力の向上を図る。

令和7年 8月29日(金) 10:00～(9:30受付開始)

<主な講師> 東北学院大学教授 稲垣 忠 氏

<講座内容(方法)>

1. GIGA スクール構想による1人1台端末環境と学習活動について(講義・演習)
GIGA スクール構想によって学びにどのような変化が見られたのかを、事例を元に解説し、これから求められる授業について考えます。
2. 情報活用能力の理解と育成について(講義・演習)
情報活用能力について理解を深め、情報活用能力を教科横断的に身につけるための方法を考えます。
3. 「情報活用型プロジェクト学習」による学習活動の設計について(講義・演習)
情報活用型プロジェクト学習について学び、研修者が実施したい教科を選択して授業づくりの演習を行います。

<講師紹介>

東北学院大学 教授 稲垣 忠 氏
 専門分野：教育工学、情報教育
 令和6年度は戸沢学園と天童市立千布小学校等に
 研究協力されています。



学びデザイン研究室

<こんな方にオススメ！>

- ICTを活用した新しい授業づくりに挑戦したい。
- 子どもたちの主体的に楽しい授業を実現したい。
- 探究的な学びを取り入れたい。
- 授業設計や指導方法について具体的なアイデアを得たい。
- ICTやAIツールの活用方法を学びたい。
- AIやICTツールの最新動向や活用事例について学びたい。

<令和6年度 受講者の声より>

実際に自分でパソコンを使いながら、わからないところを講師の先生に教えていただきながらできてよかったです。

先生方と話をしながら進めていくことで、初めて使うAIについても楽しく取り組むことができた。また、他校種・他教科の授業例を聞くことができるのも新鮮で、新しい発見があった。



集合型研修 オンライン型研修 (県センター/所属校等) 【一日開催/午後開催】 年間4回	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修			○	◎
		全校種ステージアップ研修			

学校マネジメント講座（全4回）

年間にわたる省察的实践をとおして、全校的な学び合い文化を醸成しながら、学校マネジメントに必要な資質・能力の向上を図る。

- ① 令和7年5月29日(木) 10:00～(9:30受付開始) 集合型
- ② ②-A～②-D から1つ選択 10:00～(9:30受付開始) 集合型
- ③ 令和7年11月21日(金) 10:00～(9:30受付開始) 集合型
- ④ 令和8年1月27日(火) 13:00～(12:30受付開始) オンライン型

<主な講師>

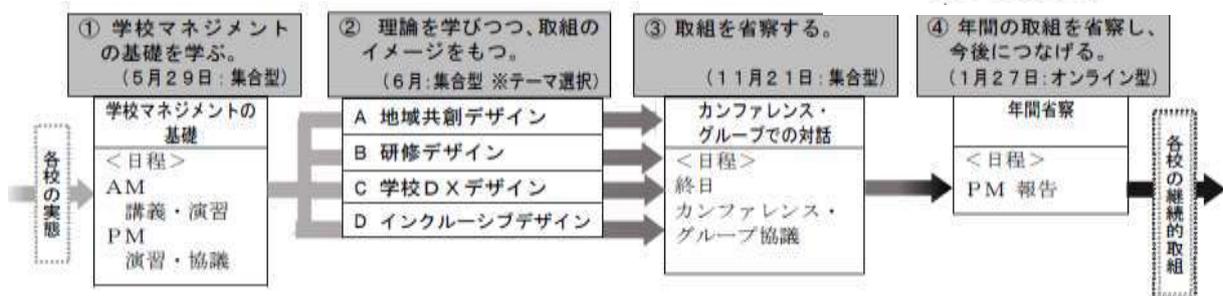
- 山形大学教職大学院 教授 江間 史明 氏 他

<講座内容(方法)>

- ① 理論(講義・演習)
- ② 実践プラン検討・カンファレンス(協議・対話)
- ③ 年間省察(報告)



<年間の流れ>

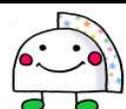


<講座紹介>

- ・学校ベースで、自走する学校づくりの実現を目指します。上のような①②③④の流れでプランを立案・実践・省察しながら、年間を通して学ぶ講座です。
- ・先生自らが課題を見つけ、行動を起こしたその先までを支える伴走型研修です。
- ・同じ課題を持つ受講者がグループとなり、一緒に考えながら問題可決の糸口を探ります。

<令和6年度 受講者の声より>

- ・校内研修を活性化するためにどうすればいいのかについて1年間、考え続けることができました。まずやってみることに、種をまくことの大切さを学びました。
- ・誰かが一人で悩んでいれば私も一緒に考えよう。その輪が広がれば、どんどんいいアイデアが浮かんで、子どもたちにも還元できるかなと思いました。
- ・小さなことから取り組む、と繰り返しお話をいただきながら参加してきましたが、実践を通して、小さなことであっても取り組み方や意図、そして実際にやってみることで、質が変わってくるということが印象に残りました。
- ・日常の当たり前を疑ってみる視点の投げかけをしていただいたことが発想の転換になりました。



集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
			○	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	全校種ステージアップ研修			
学校マネジメント講座②-A 【地域共創デザイン】					
地域との連携協働を目指した実践に取り組みながら、学校マネジメントに必要な資質・能力の向上を図る。					
令和 7年 6月17日(火) 10:00~(9:30受付開始)					
<主な講師> ○ 山形大学教職大学院 講師 吉田 尚史 氏 他					
<講座内容(方法)> ○ 理論と実践プラン検討(講義・カンファレンス・対話)					

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
			○	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	全校種ステージアップ研修			
学校マネジメント講座②-B 【研修デザイン】					
学び合う文化の醸成を目指した実践に取り組みながら、学校マネジメントに必要な資質・能力の向上を図る。					
令和 7年 6月12日(木) 10:00~(9:30受付開始)					
<主な講師> ○ 山形大学教職大学院 准教授 森田 智幸 氏 他					
<講座内容(方法)> ○ 理論と実践プラン検討(講義・カンファレンス・対話)					

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
			○	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	全校種ステージアップ研修			
学校マネジメント講座②-C 【学校DXデザイン】					
未来を創る学校DXの実践に取り組みながら、学校マネジメントに必要な資質・能力の向上を図る。					
令和 7年 6月19日(木) 10:00~(9:30受付開始)					
<主な講師> ○ 山形大学教職大学院 准教授 鈴木 宏昭 氏 他					
<講座内容(方法)> ○ 理論と実践プラン検討(講義・カンファレンス・対話)					

集合型研修 (県教育センター) 【一日開催】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
			○	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	全校種ステージアップ研修			
学校マネジメント講座②-D 【インクルーシブデザイン】					
多様性を認め合う環境づくりの実践に取り組みながら、学校マネジメントに必要な資質・能力の向上を図る。					
令和 7年 6月 3日(火) 10:00~(9:30受付開始)					
<主な講師> ○ 山形大学教職大学院 准教授 川村 修弘 氏 他					
<講座内容(方法)> ○ 理論と実践プラン検討(講義・カンファレンス・対話)					



＜オンデマンド型研修について＞

- ◇ 研修動画を視聴するためには申込みが必要です。Plant より申し込んでください【配信終了の約1か月前まで】。
- ◇ 管理職と御相談の上、御自身の業務状況等に応じて、研修の場所・時間帯を設定することができます。1度にまとめて視聴しても、内容ごと複数回に分けて視聴しても、どちらでも研修可能です。
- ◇ 「振り返り」の入力をもって受講終了となり、研修履歴として残ります。視聴後は「振り返り」の入力をお願いします。」
- ◇ オンデマンド研修のコンテンツは、随時追加予定です。詳細は、Plant を御確認ください。



7月1日(火)～ 3月末配信 【約150分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修			○	◎
学 校 運 営 基 礎 講 座 (高)					
高等学校における校務運営に必要な法的根拠について学び、校務運営に携わる教員としての倫理観を身に付けるとともに、マネジメント能力の向上を図る。					
<主な講師> ○ 県教育局教職員課 管理主事					
<講座内容(方法)> ○ 高等学校における校務運営上の法的根拠(講義)					

6月2日(月)～ 3月末配信 【約60分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
	選択研修として 受講可能な基本研修			○	◎
特 別 支 援 教 育 講 座					
学校における特別支援教育の校内体制づくりや授業づくり、保護者等との連携を学び、専門性の向上を図る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 特別支援教育課					
<講座内容(方法)>					
① 学校における特別支援教育の校内体制づくり(講義)					
② 教科指導・自立活動の指導(講義) ③ 保護者と関係機関との連携(講義)					



6月2日(月)～ 3月末配信 【約20分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
生成 AI 活用講座					
生成 AI の概要について学び、生成 AI についての理解を深めるとともに、活用事例や活用における注意点を学びながら、AI リテラシーを高める。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ○ 「 初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン 」の解説					

6月2日(月)～ 3月末配信 【約50分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
山形県における ICT の調査研究					
山形県の ICT 活用の現状や課題を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを充実させる方法を探ります。ICT を活用した指導法や教材研究の普及、学校の特性に応じた体制構築支援を通じて、ウェルビーイングの実現を目指します。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ○個別最適化と協働的な学びの充実に向けて ○ICT 活用事例と指導法 実践事例収集による学校での ICT 活用状況 ○学校の現状に応じた ICT 活用と体制構築 デジタル教科書や Google Workspace の活用状況 伴走型支援					

6月2日(月) ～3月末配信 【約30分～】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
ICT を活用した授業デザイン演習講座					
教師が持つ指導力を大切にしながら、ICT を活用した授業デザインの手法を学び、計画的な授業デザインを行うことで、教育の質の向上を図る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ○ ICT における活用場面と活用段階で分類した ICT 活用4次元モデルについて ○ 単元計画や学習過程を可視化するツールとして ○ 個人での授業デザインと校内研修での活用について					



6月2日(月)～ 3月末配信 【約13分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
小学校プログラミング研修動画【C-1 背景、学習指導要領等との関連】					
「プログラミング的思考」等の小学校におけるプログラミング教育のねらいについて理解し、プログラミング教育における指導力向上を図る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ○ 小学校プログラミング教育導入の背景、新学習指導要領等における小学校プログラミング教育関連記述の解説					

6月2日(月)～ 3月末配信 【約13分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
小学校プログラミング研修動画【C-2 ねらいと評価、具体的な授業】					
「プログラミング的思考」等の小学校におけるプログラミング教育のねらいについて理解し、プログラミング教育における指導力向上を図る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ○ 小学校プログラミング教育のねらいと評価、具体的な授業の解説					

6月2日(月)～ 3月末配信 【約17分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
小学校プログラミング研修動画【C-3 授業実践事例紹介、プログラミング実践体験】					
「プログラミング的思考」等の小学校におけるプログラミング教育のねらいについて理解し、プログラミング教育における指導力向上を図る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ○ 授業実践事例紹介、プログラミング実践体験 ※アンプラグドプログラミング、Viscuit、scratch、micro:bitの紹介					



6月2日(月)～ 3月末配信 【約30分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
micro:bit (マイクロビット) 講座					
教育向けマイコンボードとして広く普及している「micro:bit」の様々な活用法について学び、プログラミング教育における指導力向上を図る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ○ micro:bitの様々な活用法について					

6月2日(月)～ 3月末配信 【約86分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
特別支援学級の学級経営【知的障がい】					
特別支援学級に関する基礎的知識、学級経営などについて理解を得る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ① 特別支援学級とは【知的障がい】(10分) ② 教育課程の編成【知的障がい】(16分) ③ 個別の教育支援計画・個別の指導計画(7分) ④ 自立活動(10分) ⑤ 学級経営の一年間(21分) ⑥ 学級準備・教室環境(10分) ⑦ おすすめ情報(13分) ※ 特別支援学級新担任基礎研修のオンデマンド研修として作成しているコンテンツです。					

6月2日(月)～ 3月末配信 【約77分】	キャリアステージ	始発期	成長期	充実期	組織運営期
		◎	◎	◎	◎
	選択研修として 受講可能な基本研修	なし			
特別支援学級の学級経営【肢体不自由、病弱、弱視、難聴、自閉症・情緒障がい】					
特別支援学級に関する基礎的知識、学級経営などについて理解を得る。					
<主な講師> ○ 県教育センター 指導主事					
<講座内容(方法)> ①特別支援学級とは【肢体不自由、病弱、弱視、難聴、自閉症・情緒障がい】(8分) ②教育課程の編成【肢体不自由、病弱、弱視、難聴、自閉症・情緒障がい】(10分) ③個別の教育支援計画・個別の指導計画(7分) ④自立活動(10分) ⑤学級経営の一年間(21分) ⑥学級準備・教室環境(10分) ⑦おすすめ情報(13分)					



V 受講にかかわる手続き

I 専門研修の受講申込

① 【集合／オンライン】

申込開始日：4月11日（金）

申込完了日：開催1か月前まで

※ 開催1か月以内に、急遽受講を希望する場合には、お電話にてお問合せください【TEL 023-654-2155】。

ただし、

「高校 教職2年次フォローアップ研修」

「全校種 教職3年次フォローアップ研修」

「全校種 ステージアップ研修」

の一環として

専門研修講座の受講を希望する
場合、各研修の計画書の提出の
関係上、

5月16日（金）まで 申込みを完了してください。

② 【オンデマンド】

申込開始日：6月2日（月）または 7月1日（火）

※ コンテンツは、随時追加予定です。詳細は、Plantより御確認ください。

2 受講に関わる旅費等

(1) 基本研修・専門研修

＜市町村立小学校・中学校・義務教育学校教員＞ ※学校事務職員は学校対応

- ① 受講に係る旅費は、教育事務所に担当替します（県教育センター別枠予算差引の支出）。
- ② 宿泊料支給対象者（勤務先、居住地とも村山教育事務所管外）は宿泊することを原則とし、県教育センター宿泊所の宿泊料を支給します。なお、宿泊対象者が県教育センター宿泊所に宿泊しない場合の旅費も、一往復の交通費に県教育センター宿泊所の宿泊料を加えた金額を上限とします。

＜県立中学校・県立特別支援学校・県立高等学校教員＞

- ① 受講に係る旅費は、所属校に担当替します。
- ② 宿泊料支給対象者（勤務先、居住地とも村山教育事務所管外）は宿泊することを原則とし、県教育センター宿泊所の宿泊料を支給します。なお、宿泊対象者が県教育センター宿泊所に宿泊しない場合の旅費も、一往復の交通費に県教育センター宿泊所の宿泊料を加えた金額を上限とします。

＜市立高等学校教員＞

受講に係る旅費及び宿泊料は、所管の市教育委員会に申請してください。

(2) 来所サポート（全校種）

来所サポートの旅費は、所属（小学校・中学校・義務教育学校は、学校一般旅費）、または個人の負担となります。

3 昼食・宿泊の申込方法等

県教育センターで行われる研修講座を受講する場合、所定の手続きにより食堂や宿泊所を利用することができます。なお、宿泊対象者は指定されています。

(1) 申込み方法

- ① 開催7日前（土日祝日を含めない日数）まで、指定の二次元コード、もしくは本センターWebページより「Google フォーム」にて申し込んでください。なお、当日の申込みはできません。
- ② 昼食代：1食400円、宿泊代（寝具利用代）：1泊1,460円 [夕食代：1食570円、朝食代：1食230円、寝具利用代660円]です。当日受付時にお支払いください。



(2) その他

- ① 宿泊できる期間は、連続する集合型研修日の期間です。原則として、前泊・後泊することはできません。
- ② 申込み後に内容を変更する場合には、開催3日前（土日祝日を含めない）まで、県教育センター総務課に必ず連絡してください。それ以降は、変更できません。
- ③ 電話やFAXでの申込みは受け付けていません。申込み受理の返事も行いません。
- ④ 感染症等の影響で、申込みを受理できる人数を制限する場合があります。その場合には、先着順となりますので、御了承ください。

4 欠席、遅刻・早退、受講者変更の流れ

受講者が決定した後、事情により欠席や、遅刻・早退、受講者を変更する等
の場合には、下記のとおり、お手続きください。

(1) 講座開催日の 3 日前まで (土日祝日を含めない日数)

市町村立小学校・中学校・義務教育学校

① 教頭(校長)より、速やかに市町
村教育委員会に御連絡ください。
(市町村教委→教育事務所*→県セ)



② 県教育センターで処置を決定
し、教育事務所*→市町村教育委員
会を通じて回答します。



③ 処置に即した文書を、市町村教
育委員会に御提出ください。
(市町村教委→教育事務所*→県セ)

P 6 8

(様式) 欠席届

(様式) 遅刻・早退届

県立中学校・特別支援学校・高等学校

① 教頭(校長)より、速やかに県教
育センターの講座担当者(要項記
載)に直接御連絡ください。



② 県教育センターで処置を決定
し、学校に回答します。



③ 処置に即した文書を、県教育セ
ンター所長あてに御提出ください。
(講座担当者にメール)

P 6 8

(様式) 欠席届

(様式) 遅刻・早退届

※山形市立小・中学校は、村山教育事務所を通さなくて手続きが進みます。

(2) 講座開催日の 2 日前～当日 (土日祝日を含めない日数)

小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校

① 事情により遅刻・欠席等の場合には、受講者は教頭(校長)に連絡・相談



② 教頭(校長)より、県教育センターの講座担当者(要項記載)にお電話ください。
※ 小学校・中学校・義務教育学校は、市町村教育委員会にもお知らせください。



③ 処置に即した文書((様式)欠席届、または(様式)遅刻・早退届)を、
i) 市町村立小・中学校・義務教育学校→市町村教育委員会に御提出ください。
ii) 県立中学校・特別支援学校・高等学校→県教育センター所長あてに御提出ください。

※ 幼稚園・認定こども園については、お手元にある「手引」を御参照ください。

VII 各種様式 (県教育センターWebページよりダウンロード可)

欠席届 (全校種)

記号番号 (必要に応じて)
令和 年 月 日

県教育センター所長 殿

学校名 _____
校長名 _____

研修講座欠席届

研修講座に受講できないため、下記のとおり、届け出ます。

記

- 1 研修講座名
- 2 受講者 職・氏名
- 3 欠席期日 令和〇年〇月〇日 (〇)
- 4 理由

遅刻・早退届 (全校種)

記号番号 (必要に応じて)
令和 年 月 日

県教育センター所長 殿

学校名 _____
校長名 _____

研修講座遅刻・早退届

研修講座を遅刻・早退するため、下記のとおり、届け出ます。

記

- 1 研修講座名
- 2 受講者 職・氏名
- 3 受講できない期日・時間帯
令和〇年〇月〇日 (〇) 〇時〇分～〇時〇分 [〇時間〇分]
- 4 理由

Ⅷ 継続型・訪問・来所サポート

Ⅰ 内容

(1) 継続型サポート

学校課題・個人課題【探究】	
ねらい	学校や教職員の探究を継続的に支援する
対象	幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校
方法	<p>【学校主体の探究的な学びの促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定及び探究計画の作成支援 ・センターリソースの効果的な活用の紹介 ・教職員の語り合いへの参加 ・省察・発信機会の提供 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈継続的なかわり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回以上の訪問サポート ・来所サポートやオンライン面談 ・チャットやメールでの相談 ・実態を踏まえた柔軟な期間設定 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学校担当者とセンター職員で相談の上、日常的な実践に基づく探究が充実するよう、最適に組合せます。</p> </div>
内容例	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等、教育相談・生徒指導、特別支援教育、情報教育等に関する探究 ・年間を通じた校内研究やOJT等のマネジメント

(2) 訪問サポート（旧出前サポート）

校内研究・研修支援【教科・領域等】	
ねらい	校内研究や校内研修、各教育研究会等の活動を支援する。
対象	幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校
内容例	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業等の参観、事後研究会における指導や助言 ・校内研修会における指導や助言 ・その他、教職員研修に関する指導や助言等

校内研究・研修支援【教育課題】									
ねらい	校内研究や校内研修、各教育研究会等の活動を支援する。								
対象	幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校								
内容例	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;">① ICT活用 ・情報教育</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の情報化について（講義・演習） ・情報モラル教育の具体的な指導について（講義・演習） ・小学校プログラミング教育について（講義・演習） ・ICTを活用した授業づくりについて（講義・演習） </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">② いじめ 防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見・早期対応について（講義・演習） ・いじめ未然防止のためのグループアプローチについて（講義・演習） </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">③ 特別支援 教育</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の教育課程、学級経営・授業づくり（講義・情報交換・演習） ・発達障がいにかかわる理解と支援（講義・演習） ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり（講義・演習） </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">④ 教育相談</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係づくりについて（講義・演習） ・教育相談体制の充実について（講義・演習） </td> </tr> </table>	① ICT活用 ・情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の情報化について（講義・演習） ・情報モラル教育の具体的な指導について（講義・演習） ・小学校プログラミング教育について（講義・演習） ・ICTを活用した授業づくりについて（講義・演習） 	② いじめ 防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見・早期対応について（講義・演習） ・いじめ未然防止のためのグループアプローチについて（講義・演習） 	③ 特別支援 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の教育課程、学級経営・授業づくり（講義・情報交換・演習） ・発達障がいにかかわる理解と支援（講義・演習） ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり（講義・演習） 	④ 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係づくりについて（講義・演習） ・教育相談体制の充実について（講義・演習）
① ICT活用 ・情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の情報化について（講義・演習） ・情報モラル教育の具体的な指導について（講義・演習） ・小学校プログラミング教育について（講義・演習） ・ICTを活用した授業づくりについて（講義・演習） 								
② いじめ 防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見・早期対応について（講義・演習） ・いじめ未然防止のためのグループアプローチについて（講義・演習） 								
③ 特別支援 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の教育課程、学級経営・授業づくり（講義・情報交換・演習） ・発達障がいにかかわる理解と支援（講義・演習） ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり（講義・演習） 								
④ 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係づくりについて（講義・演習） ・教育相談体制の充実について（講義・演習） 								

(3) 来所サポート

授業づくり、学習指導案作成、校内研究、教育課程編成などの相談

2 申込方法

継続型サポート

1 お申込み

【4月4日（金）～30日（水）】

本センターWebページの「継続型サポート申込みはこちら」(コード1)より申し込んでください。



コード1

訪問・来所サポート

1 お申込み

【4月4日（金）より随時】

本センターWebページの「申込みはこちら」(コード2)より申し込んでください。



コード2

< 確認事項 >

- 実施日は指定できません。後日、学校担当者と指導主事が相談し、決定します。
- お問合せの窓口は、継続型サポート担当指導主事です。事前に指導主事等との日程調整はできません。

< 確認事項 >

- 実施日の御希望がある場合は、「令和7年度 県教育センター年間運営計画」を御確認の上、お申し込みください。 年間運営計画
- 日程調整・準備の都合等により、実施日の約1か月前までに、お申込みください。
- 毎週月曜日は、県教育センター所内業務のため、サポートできません。
- お問合せの窓口は、研修課 主任指導主事です。事前に指導主事等との日程調整はできません。
- 内容例にないものを御希望の場合や、教育委員会が指導主事等の派遣を御希望の場合には、事前に御相談ください。

2 申込みに対する回答

本センターで日程・内容を調整して実施の可否を決定し、申込者にメールにて回答します。継続型・訪問サポートは、実施可能な場合には、「サポート派遣依頼書(様式)」を送付します。

3 サポート派遣依頼書の提出（実施日の約3週間前まで）

「サポート派遣依頼書」を、下記のアドレスに返信メールで御送付ください。

継続型・訪問サポート専用：pei.demae@yamagataps.jp

サポート



山形県教育センター
イメージキャラクター「せんたん」

令和7年度 研修講座案内

発行日：令和7年3月

編集・発行：山形県教育センター

〒994-0021



山形県天童市大字山元字犬倉津 2515

TEL：023-654-2155（代表）

FAX：023-654-2159

URL：<https://www.yamagata-c.ed.jp/>
